

地震・津波・火山に関する情報の  
コード電文解説資料

[抜粋版（修正箇所表示）]

平成 24 年 ~~4~~月 xx 月

気象庁地震火山部

## ■ 目 次

1. 共通事項
2. 電文別コード体系とフォーマット
  - 2-1 津波関連電文
  - 2-2 地震関連電文
  - 2-3 東海地震関連電文
  - 2-4 火山関連電文

【別冊】地震・津波関連移行措置用コード電文解説資料

## ■ 発行履歴

平成 17 年 11 月	平成 17 年度版発行
平成 19 年 4 月	平成 19 年度版発行
平成 20 年 10 月	平成 20 年度版発行
平成 21 年 10 月	平成 21 年度版発行
平成 22 年 4 月	平成 22 年度版発行
平成 23 年 5 月	平成 23 年度版発行
平成 24 年 4 月	平成 24 年度版発行

# 1 共通事項

## ■ 目次

1. 電文の基本事項	・・・ 共通-1
① コード部を含まない電文	共通-1
② コード部を含む電文	共通-1
2. コードの共通項目	・・・ 共通-3
① aa：電文種別コード	共通-3
② bb：発信官署コード	共通-5
③ nn：電文の種類	共通-5
④ y <sub>i</sub> y <sub>j</sub> m <sub>i</sub> m <sub>j</sub> d <sub>i</sub> d <sub>j</sub> h <sub>i</sub> h <sub>j</sub> m <sub>i</sub> s <sub>i</sub> s <sub>j</sub> ：発信時刻（年月日時分秒）	共通-5
⑤ Cnf：電文通数	共通-6
3. 複数に分割された電文の具体例	・・・ 共通-7
① コード+漢字かな文の電文が、漢字かな文で分割された場合	共通-7
② コード電文が分割される場合	共通-9
4. 複数に分割された電文の処理について	・・・ 共通-10
① 複数電文であるかの識別方法	共通-10
② 同一情報の電文を選別する方法	共通-10
③ 「1通目」の電文であるかの識別方法	共通-10
④ 「2通目」以降の電文であるかの識別方法	共通-11
⑤ 「最終通」であるかの識別方法	共通-11
⑥ 電文の順序及び電文数	共通-12

## ■ 変更履歴

平成 17 年 11 月 22 日	全面改訂
平成 18 年 10 月 12 日	電文種別コードに緊急地震速報追記
平成 19 年 4 月 2 日	津波予報にツヨク 6 を追記
平成 19 年 12 月 1 日	気象業務法の一部改正に対応（「津波予報」→「津波警報・注意報」、緊急地震速報にキョウシ 3, 4 を追記）
平成 20 年 8 月 1 日	廃止予定電文の説明を記述 「4. 複数に分割された電文の処理について」を追記
平成 21 年 10 月 1 日	廃止した電文の説明を削除
平成 22 年 8 月 1 日	発信官署コードの説明を修正

## 2. コードの共通項目

コード部の基本的な構成は「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>j</sub>m<sub>i</sub>m<sub>j</sub>d<sub>i</sub>d<sub>j</sub>h<sub>i</sub>h<sub>j</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>j</sub> Cnf …… 9999」となっており、「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>j</sub>m<sub>i</sub>m<sub>j</sub>d<sub>i</sub>d<sub>j</sub>h<sub>i</sub>h<sub>j</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>j</sub> Cnf」は共通の基本部であり、最後の「9999」はコード部の終了を示す符号である。

なお、以下のコード部の説明では、識別符号を表すものは大文字で表記する。

### ① aa : 電文種別コード

電文の種別を番号で示したもので、現在以下のように割り当てている。

#### ■ 津波警報・注意報 (遠地・近地の区別はしない)

~~01=ツミヨウ 1、ツミヨウ 3、ツミヨウ 6 (近地地震に伴う津波警報・注意報)~~

~~02=ツミヨウ 1、ツミヨウ 3、ツミヨウ 6 (遠地地震に伴う津波警報・注意報)~~

~~03=ツミヨウ 1、ツミヨウ 3、ツミヨウ 6 (近地・遠地地震両方に伴う津波警報・注意報)~~

~~注) 通常は03を使用。~~

30=ツミヨウ 11、ツミヨウ 13、ツミヨウ 16

#### ■ 津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報 (遠地・近地の区別はしない)

~~04=ツミヨウ 1、ツミヨウ 3~~

~~(近地地震に伴う津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報)~~

~~05=ツミヨウ 1、ツミヨウ 3~~

~~(遠地地震に伴う津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報)~~

~~06=ツミヨウ 1、ツミヨウ 3~~

~~(近地・遠地地震の両方に伴う津波到達予想時刻・予想される高さに関する情報)~~

~~注) 通常は06を使用。~~

31=ツミヨウ 11、ツミヨウ 13

#### ■ 各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報 (遠地・近地の区別はしない)

~~10=ツミジヨウ 1、ツミジヨウ 3~~

32=ツミジヨウ 11、ツミジヨウ 13

#### ■ 津波観測に関する情報 (遠地・近地の区別はしない)

~~11=ツミジヨウ 1、ツミジヨウ 3~~

33=ツミジヨウ 11、ツミジヨウ 13

#### ■ 沖合の津波観測に関する情報 (遠地・近地の区別はしない)

34=オキイツミ 11、オキイツミ 13

■ 津波に関するその他の情報、津波予報（遠地・近地の区別はしない）

~~12=ツナミジ ヨウホク 1~~

~~13=ツナミジ ヨウホク 11~~

■ 津波に関するデータ（遠地・近地の区別はしない）

~~16=ツナミカンソウイチラン 3（津波観測に関する一覧データ）~~

~~14=ツナミイラン 13（津波観測に関する一覧データ）~~

■ 東海予知関連

17=トウカイヨチ 1 東海地震予知情報

18=トウカイヨチ 1 東海地震注意情報

19=トウカイソク 1 東海地震に関連する調査情報（臨時発表時）

■ 地震火山に関する運用連絡電文

26=サイモシセ 1 地震火山に関するお知らせ。関連全気象官署、部外機関に配信。

■ 緊急地震速報

35=ナウキヤスト 3、ナウキヤスト 4 最大予測震度のみの緊急地震速報（発表パターン 1:後述）

36=ナウキヤスト 3、ナウキヤスト 4 マグニチュード（以下、「M」と記述。）、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報（発表パターン 2:後述）

37=ナウキヤスト 3、ナウキヤスト 4 M、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報（発表パターン 3:後述）

38=ナウキヤストテスト 1、ナウキヤストテスト 91 テスト電文

39=ナウキヤスト 3、ナウキヤスト 4 キャンセル（取り消し）情報

47=キンキウジ シン 3、キンキウジ シン 4 一般向け緊急地震速報

48=キンキウジ シン 3、キンキウジ シン 4 キャンセル報

■ 噴火警報・予報及び火山情報

40=カザンジ ヨウホク 1 噴火警報・予報

43=カザンカイセツ 1 火山の状況に関する解説情報

■ 震度速報

53=シンド ソクホク 3 震度速報

■ 本邦及びその周辺の海域で発生した地震に対する地震情報・津波情報（全国版）

~~84=ゼンコクサイモ 1、ゼンコクサイモ 3 地震情報（震源・震度に関する情報）~~

~~93=ゼンコクサイモ 11、ゼンコクサイモ 13 地震情報（震源・震度に関する情報）~~

87=ゼンコクサイモ 1 地震情報（その他の情報）

~~91=チイチンジント 3 各地域・市町村及び各地の震度に関する情報~~  
~~95=チイチンジント 13 各地域・市町村及び各地の震度に関する情報~~

■ 震源速報

~~89=シゲソクホ 1 地震情報（震源に関する情報）~~  
~~92=シゲソクホ 11 地震情報（震源に関する情報）~~

■ 外国で発生した地震に対する地震情報・津波情報（全国版）

94=エンチサイモ 1、エンチサイモ 3 地震情報（震源・震度に関する情報）  
97=エンチサイモ 1 地震情報（その他の情報）

② bb：発信官署コード

発信官署コードは以下のとおり。

a) 0b＝通常

01=札幌、02=仙台、03=東京、04=大阪、05=福岡

b) 1b＝本庁・各管区（以下中枢と呼ぶ）が他の中枢の電文を代行発信

本来発信すべき中枢が何らかの理由により、電文を発信することが不可能な場合には他の中枢が代行発信する。ここで示す一の位の **b** は通常の実信官署の番号の一の位を表す。例えば仙台が本庁の代行発信を行う場合は **bb=12** となる。

現運用での発信官署番号は以下の通り

地震・津波関連電文

03：東京（本庁）（全国版）

04：大阪（全国版）

火山関連電文

01：札幌（自管内火山の発表時）

11：札幌（自管外火山の発表時）

02：仙台（自管内火山の発表時）

12：仙台（自管外火山の発表時）

03：東京（本庁）  
（自管内火山の発表時）

13：東京（本庁）  
（自管外火山の発表時）

05：福岡（自管内火山の発表時）

15：福岡（自管外火山の発表時）

なお、火山関連電文において、特定の管内の火山を参照したい場合はヘッダ一部の発信官署を参照されたい。

### ③ nn : 電文の種類

00=通常、01=訓練、10=通常の取り消し、11=訓練の取り消し

20=通常形式の電文による配信試験 ただし緊急地震速報では、参考情報またはテスト電文

30=コード部の共通の基本部のみの形式による配信試験、ただし緊急地震速報はコード部全体の配信試験となる。

### ④ y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> : 発信時刻（西暦年下2桁、月、日、時、分、秒）

電文の発信時刻。かならずしも情報の発表時刻と一致しない。

### ⑤ Cnf : 電文通数

電文長の最大が 3800 バイトであるため、1つの情報が複数の電文に分かれる場合の判断に使用する。

C : 電文通数を示す識別符号。

n : この電文を含め、電文があと何通あるかを示す。

1~9 の数字の後に A~Z の英字を使用する。

従って順序は小さい方から「1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z」とする。

例) Z の場合、残りの電文はこの電文を含めて 35 通である。

f : この電文でコード部が終わりか、あるいはさらに続くかを示す。

1 の時終わり、0 の時続くとする。

例えば 1 通のみで終わる時には C11 となる。

本文で 2 通に分割される時には 1 通目が C21、2 通目が C11 となる。

コード部で 2 通に分割される場合は 1 通目が C20、2 通目が C11 となる。

2 電文目以降の電文は、コード部の共通部 (aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf) を必ず付ける。この共通部は Cnf を除いて 1 電文目と共通である。

### 3. 複数に分割された電文の具体例

#### ① コード+漢字かな文の電文が、漢字かな文で分割された場合

##### 電文例 (1 通目)

ツミヨウ 11 材カ

(STX)

31 04 00 110311151439 C21 E1 1103111450 1103111446 288 202 05 130  
 0380 01429 010 89 T QF R201 52 50 1103111510 1 05LL R210 52 50  
 1103111450 1 10LL R220 52 50 1103111500 1 10L/ R250 52 50 1103111510  
 1 10LL R300 52 00 1103111530 1 05LL R310 52 00 1103111520 1 05LL  
 R100 51 00 1103111530 1 03LL R101 51 00 1103111530 2 03LL R102 51 00  
 1103111540 1 03LL R200 51 00 1103111610 1 03LL R311 51 00 1103111520  
 1 03LL R320 51 00 1103111520 2 03LL R321 51 00 1103111600 1 03LL  
 R111 62 13 1103111640 1 01LL R202 62 13 1103111620 1 01LL R312 62 13  
 1103111540 1 01LL R330 62 00 1103111530 0 01LL R380 62 00 1103111530  
 0 01LL R390 62 00 1103111610 0 01LL R391 62 13 1103111630 1 01LL  
 R400 62 00 1103111600 0 01LL R522 62 13 1103111650 1 01LL R530 62 00  
 1103111610 0 01LL R580 62 00 1103111640 0 01LL R600 62 13 1103111710  
 1 01LL R610 62 00 1103111630 0 01LL R750 62 13 1103111750 1 01LL  
 R751 62 13 1103111710 1 01LL R760 62 00 1103111700 0 01LL R770 62 13  
 1103111710 1 01LL R771 62 00 1103111710 0 01LL R772 62 00 1103111710  
 0 01LL R773 62 13 1103111720 1 01LL R800 62 13 1103111740 1 01LL  
 R801 62 13 1103111710 1 01LL R802 62 13 1103111810 1 01LL T FN 210  
 52 220 52 250 52 201 52 300 52 310 52 101 51 320 51 100 51 102 51  
 200 51 311 51 321 51 330 62 380 62 390 62 400 62 530 62 580 62 610  
 62 760 62 771 62 772 62 111 62 202 62 312 62 391 62 522 62 600 62  
 750 62 751 62 770 62 773 62 800 62 801 62 802 62 A1000610010 9999

津波情報 (津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報)  
 平成23年 3月11日 15時14分 気象庁発表

11日14時50分の津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する  
 情報を更新します。

[津波到達予想時刻・予想される津波の高さ]  
 #印は新たに発表、あるいは情報を更新した箇所です。  
 津波到達予想時刻および予想される津波の高さは次のとおりです。  
 予報区名 第1波の到達予想時刻 予想される津波の最大波の高さ

<大津波警報>		
青森県太平洋沿岸	#第1波の到達を確認	# 5m
岩手県	#第1波の到達を確認	# 10m
宮城県	#第1波の到達を確認	# 10m超
福島県	#第1波の到達を確認	# 10m
茨城県	11日15時30分	# 5m
千葉県九十九里・外房	11日15時20分	# 5m
<津波警報>		
北海道太平洋沿岸東部	11日15時30分	# 3m
北海道太平洋沿岸中部	11日15時30分	# 3m
北海道太平洋沿岸西部	11日15時40分	# 3m
青森県日本海沿岸	11日16時10分	# 3m
千葉県内房	11日15時20分	# 3m
伊豆諸島	11日15時20分	# 3m
小笠原諸島	11日16時00分	# 3m
<津波注意報>		
#北海道日本海沿岸南部	# 11日16時40分	# 1m
#陸奥湾	# 11日16時20分	# 1m
#東京湾内湾	# 11日15時40分	# 1m
相模湾・三浦半島	11日15時30分	1m
静岡県	11日15時30分	1m
愛知県外海	11日16時10分	1m
#伊勢・三河湾	# 11日16時30分	# 1m
三重県南部	11日16時00分	1m
#淡路島南部	# 11日16時50分	# 1m
和歌山県	11日16時10分	1m
徳島県	11日16時40分	1m
#愛媛県宇和海沿岸	# 11日17時10分	# 1m

(1/2) つづく

=

(ETX)

電文例 (2 通目)

ツミヨ村 11 材物

(STX)

31 04 00 110311151439 C11 9999

高知県	1 1 日 1 6 時 3 0 分	1 m
#大分県瀬戸内海沿岸	# 1 1 日 1 7 時 5 0 分	# 1 m
#大分県豊後水道沿岸	# 1 1 日 1 7 時 1 0 分	# 1 m
宮崎県	1 1 日 1 7 時 0 0 分	1 m
#鹿児島県東部	# 1 1 日 1 7 時 1 0 分	# 1 m
種子島・屋久島地方	1 1 日 1 7 時 1 0 分	1 m
奄美諸島・トカラ列島	1 1 日 1 7 時 1 0 分	1 m
#鹿児島県西部	# 1 1 日 1 7 時 2 0 分	# 1 m
#沖縄本島地方	# 1 1 日 1 7 時 4 0 分	# 1 m
#大東島地方	# 1 1 日 1 7 時 1 0 分	# 1 m
#宮古島・八重山地方	# 1 1 日 1 8 時 1 0 分	# 1 m

警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所によっては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる場合があります。

到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかる場合がありますので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる可能性があります。

これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。

詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。

[予想される津波の高さの解説]

予想される津波が高いほど、より甚大な被害が生じます。

10m超 巨大な津波が襲い壊滅的な被害が生じる。木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。

10m 巨大な津波が襲い甚大な被害が生じる。木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。

5m 津波が襲い甚大な被害が生じる。木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。

3m 標高の低いところでは津波が襲い被害が生じる。木造家屋で浸水被害が発生し、人は津波による流れに巻き込まれる。

1m 海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

[震源、規模]

きょう 1 1 日 1 4 時 4 6 分頃地震がありました。

震源地は、三陸沖（北緯 3 8 . 0 度、東経 1 4 2 . 9 度、牡鹿半島の東南東 1 3 0 km 付近）で、震源の深さは約 1 0 km、地震の規模（マグニチュード）は 8 . 9 と推定されます。

（2 / 2）

=

(ETX)

## ② コード電文が分割される場合

### 電文例 (1 通目)

チキチンソツト<sup>13</sup> キヨウ  
(STX)

91-95 03 00 080324124442 C20 0803241240 289 /// // /// 0371 01415 040  
53 EI // BI S4 311 S3 250 251 300 301 310 S2 220 221 222 252 321  
330 331 340 341 350 360 S1 210 211 212 213 242 243 320 332 342 351  
352 361 371 372 411 412 421 440 CI S4 31115 S3 25001 25036 25039  
25100 25102 25103 25104 25105 25107 25108 25109 25115 30000 30001  
30002 30003 30005 30031 30032 30155 30161 31002 31116 S2 22010  
22052 22053 22057 22107 22108 22110 22111 22116 22117 22119 22205

(途中省略)

3011131 3011200 3011220 3012030 3012530 3015031 3015300 3015400  
3015420 3015520 3015600 3015830 3015931 3016032 3016100 3016131  
3100031 3100200 3100230 3101130 3101431 3101433 3110000 3110420  
3110520 3110620 3110630 3111330 3111400 3111530 3111730 3112730  
9999=  
(ETX)

### 電文例 (2 通目)

チキチンソツト<sup>13</sup> キヨウ  
(STX)

91-95 03 00 080324124442 C11 3113600 3113630 3113730 3113731 3211230  
3300030 3300530 3300800 3300820 3303430 3303730 3310720 3310730  
3310740 3311130 3314031 3314930 3400531 3400730 3403400 3403420  
3403430 3403431 3410930 3410931 3411000 3411030 3411130 3411301  
3412230 3412730 3412830 3412930 3413031 3500000 3501450 3501451  
3501730 3501750 3600841 S1 2100420 2110130 2110220 2120000 2120021

(途中省略)

3601820 3601940 3602000 3602040 3602140 3602340 3602341 3602730  
3602900 3603430 3603530 3603730 3610130 3610132 3610140 3610143  
3610200 3610431 3610630 3611530 3710630 3713800 3724430 4114935  
4115120 4115220 4120630 4210733 4211230 4400000 4401933 A170000  
9999=  
(ETX)

コードの共通の基本部「91-95 03 00 080324124442 C11」の後には、1 電文目からのコード部の続きを報ずる。

## 4. 複数に分割された電文の処理について

複数に分割された電文（以下、複数電文）を処理するためには、同一情報の電文のすべてを受信し、電文の順序を正して連結処理する必要がある。このため、複数電文であるかの識別、電文数（「1通目」の電文に記載）、電文の順序などをコード部から解析する必要がある。ここで、「1通目」の電文とは、分割された電文中の最初の電文のことを意味する。

なお、複数電文は必ずしも通番どおりに入電するとは限らないことに留意する必要がある。

以下に、参考として、電文の識別方法等を記載する。

### ①複数電文であるかの識別方法

コードの共通項目「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf ……」のうち、電文通数を示すコード（Cnf）に着目し、以下の二つの場合は複数電文である。

- ・残通数を示すnが2以上の場合。
- ・残通数を示すnが1で、かつ、「1通目」の電文でない場合。

（「1通目」の電文であるかの識別方法は③項参照）

### ②同一情報の電文を選別する方法

コードの共通項目「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf ……」のうち、電文種別番号(aa)、発信官署(bb)及び発信時刻(y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub>)が同一である。

### ③「1通目」の電文であるかの識別方法

- (1) 津波関連電文 [電文種別番号：~~01, 02, 03, 04, 05, 06, 10, 11, 16~~14, 30, 31, 32, 33, 34]のうち、コード部を含む電文。(○○○○、○○○○11、○○○○13、○○○○16電文。1. 電文の基本事項を参照のこと)

「1通目」のみ、コードの共通項目の後に、同一種別の津波関連電文の最初の発表であるかの判別を示すコード（Ee yymmddhhmm）が入る。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf Ee yymmddhhmm ……」

E：最初の発表であるか否かを示す部分であることの識別子（いつもE）。

e：最初の発表であるか否かを示す。

(0：最初の発表、1：すでに発表されている)

yymmddhhmm：過去最新の発表時刻。eが0の場合は「//////////」。

- (2) 地震関連電文、東海関連電文、火山関連電文 [電文種別番号：17, 18, 19, 40, 43, 53, ~~84, 91~~93, 94, 95]のうち、コード部を含む電文。(○○○○、

〇〇〇〇 1、〇〇〇〇 3、〇〇〇〇 1 1、〇〇〇〇 1 3電文。1. 電文の基本事項を参照のこと)

「1通目」のみ、コードの共通項目の後に、地震の発現時刻（地震関連電文）または情報発表時刻（東海関連電文、火山関連電文）を示すコード（yymmddhhmm）が入る。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf yymmddhhmm ……」

### (3) 上記以外の電文

基本コード部のみで構成されているため、コード部のみで何通目であるかを判断することができない。これらの電文では、複数電文となった場合に、配信する順に並べても混乱のないよう、通数をしめす文字（1/2、2/2等）を本文中に入れることとしている。

## ④ 「2通目」以降の電文であるかの識別方法

(1) 津波関連電文 [電文種別番号：14, 30, 31, 32, 33, 3401, 02, 03, 04, 05, 06, 10, 11, 16]のうち、コード部を含む電文。（~~〇〇〇〇~~、〇〇〇〇 1 1、〇〇〇〇 1 3、〇〇〇〇 1 6電文。1. 電文の基本事項を参照のこと)

コードの共通項目の後に、同一種別の津波関連電文の最初の発表であるかの判別を示すコード（Ee yymmddhhmm）は入らない。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf……」

↑

ここに「Ee yymmddhhmm」は入らない。

(2) 地震関連電文、東海関連電文、火山関連電文 [電文種別番号：17, 18, 19, 40, 43, 53, 84, 9193, 94, 95]のうち、コード部を含む電文。（~~〇〇〇〇~~、〇〇〇〇 1、〇〇〇〇 3、〇〇〇〇 1 1、〇〇〇〇 1 3電文。1. 電文の基本事項を参照のこと)

コードの共通項目の後に、地震の発現時刻（地震関連電文）または情報発表時刻（東海関連電文、火山関連電文）を示すコード（yymmddhhmm）は入らない（数字が10バイト続くようなコードは入らない）。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf……」

↑

ここに「yymmddhhmm」は入らない。

### (3) 上記以外の電文

上記③(3)と同様。

## ⑤ 「最終通」であるかの識別方法

コードの共通項目「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf ……」のうち、電文通数を示すコード (Cnf) が C11 となる。

なお、本文が次電文に続くがコード部終了の場合は、n が 1 より大きくても f=1 となる (例えば、C31 など) ので、コード部のみを使用する場合は、f=1 となった電文のうち、n が一番大きいものを最終通とみなせばよい。

## ⑥電文の順序及び電文数

電文の順序は、コードの共通項目「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf ……」のうち、電文通数を示すコード (Cnf) において、残通数を示す n の大きい順となる (「1 通目」の n が一番大きい)。電文の分割数は、「1 通目」の電文の n で示される。

## 参考) 電文連結手順例

以下に、電文連結手順の一例を参考までに示す。

- ①受信した電文が複数電文であるかどうかを識別する。
- ②複数電文の場合は、全電文が揃うまで一時保存する (※)。
- ③複数電文は順番どおりに入電する保証がないため、上記②のタイミングで、同一情報の電文がすべて入電したか確認処理を行う。
- ④同一情報の電文がすべて入電したことが確認されたら、連結の際に不要なコード等を削除し、残通数の大きい電文順に連結する。

(※) 複数電文を一時保存する際には、同一情報の電文であることがすぐに識別できるように、例えば、電文種別 (aa)、発信官署 (bb)、発信時刻 (y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub>)、電文通数 (Cnf) などをファイル名とする。

## 2-1 津波関連電文

### ■ 目次

1. 津波警報・注意報	・・・津波-1
2. 震源要素を付加した津波警報・注意報	・・・津波- <a href="#">1512</a>
3. 津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報	・・・津波- <a href="#">2429</a>
4. 各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報	・・・津波- <a href="#">3038</a>
5. 津波観測に関する情報	・・・津波- <a href="#">3747</a>
<b>6. 沖合の津波観測に関する情報</b>	・・・津波- <a href="#">53</a>
<del>6.7.</del> 津波に関するその他の情報（津波予報、等）	・・・津波- <a href="#">4258</a>
<del>7.8.</del> 津波観測に関する一覧データ	・・・津波- <a href="#">4460</a>
別表1 津波警報・注意報の{T HD …}で用いる地域名のコード番号	・・・津波- <a href="#">4764</a>
別表2 津波予報区のコード番号	・・・津波- <a href="#">4966</a>
別表3 津波警報・注意報の{T HR …}{T HN …}で用いる領域のコード番号	・・・津波- <a href="#">5067</a>
別表4 津波情報で用いる地点のコード番号	・・・津波- <a href="#">5168</a>
別表5 津波情報の震源要素で用いる地点のコード	・・・津波- <a href="#">6077</a>

### ■ 変更履歴

平成17年11月22日	全面改訂
平成18年3月22日	別表4の更新
平成19年3月1日	別表4の更新
平成19年3月15日	震源要素を付加した津波予報の追加
平成19年4月2日	別表4の更新
平成19年6月29日	別表5の更新
平成19年12月1日	政令改正による更新（津波警報・津波注意報・津波予報の開始） 津波に関するその他の情報の追加
平成20年4月1日	別表1、別表2、別表4の更新 震源要素の不明について追加
平成20年7月1日	別表4の更新
平成21年4月1日	津波電文デコード文変更による更新（津波警報・注意報・津波情報・津波予報（若干の海面変動）） 別表4の更新
平成22年4月1日	津波警報・注意報・情報電文での予報内容の関係について付記 電文の発信時刻と情報の発表時刻の関係について付記 別表4の更新
平成22年7月1日	別表4の更新
平成23年5月12日	別表1、別表2、別表3、別表4の更新

平成 23 年 10 月 11 日 別表 4 の更新  
平成 24 年 1 月 5 日 別表 4 の更新  
平成 24 年 3 月 27 日 別表 4 の更新

## 1. 津波警報・注意報 (aa : ~~01、02、0330~~)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1s1s1 Cnf Ee yymmddhhmm y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 {T IN …} {T HD …} {T FR …} {T AR…} {T FN …} {T OP …} {T HR …} {T HN …} {T QF} (CH {T FN …} {T OP …} {T HN …}) 9999
```

注)

- ・ ()、{} はコードには含まれない。
- ・ ()内は、取り消しの場合のみ付ける。
- ・ {T IN …} {T HD …} {T FR …} {T AR…} {T FN …} {T OP …} {T HR …} {T HN …} {T QF} のコード構成は以下で説明する。
- ・ {T AR …} {T FN …} {T HR …} {T HN …} {T QF} のコードはつかないことがある。
- ・ 取り消し時は、{T HD …} から CH までが取り消すべき電文の内容、CH 以後が取り消し後の津波警報・注意報の発表状況を示す。

### ■ 各コードの説明

#### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

#### ② Ee yymmddhhmm    最初の津波警報・注意報の判別

E : 最初の津波警報・注意報電文であるか否かを示す部分であることの識別子

e : 最初の津波警報・注意報電文であるか否かを示す

0 : 現在津波警報・注意報が発表されていない (つまり、最初の津波警報・注意報電文である)

1 : 現在津波警報・注意報が発表されている (つまり、以前発表した津波警報・注意報の追加・解除・切り替え・取り消しである。)

yymmddhhmm : 過去最新の津波警報・注意報の発表時刻。

通常 (nn が 00 または 01) の場合、e が 1 の場合は過去最新の津波警報・注意報電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示し、e が 0 の場合は “//////////” とする。取り消しの場合は、取り消すべき津波警報・注意報電文の発表時刻を示す。

#### ③    電文タイトル

電文タイトルの漢字かな文への記述については、「津波警報・注意報の概略」{T IN …} における警報・注意報内容の概略、「津波警報・注意報の本文」{T FR …} における発

表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等の内容により判別を行い動的表現とする。

- ・津波警報・注意報の発表時（{T IN …}にて n が 0）は、発表後の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする
- ・津波警報・注意報の切り替え、一部解除時（{T IN …}にて n が 1、2 または 3）は、切り替え、一部解除後の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする。
- ・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN …}にて n が 4）は、解除時の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする
- ・取り消し時（基本コード部での電文の種類 mn が 10 または 11）は、取り消し前の各予報区についての津波警報・注意報の種類（CH 識別子以前の T FR 項における  $f_2f_2$ ）による総和表現とする。

例)

- ・津波警報・注意報の発表時、切り替え、または一部解除時（{T IN …}にて n が 0、1、2 または 3）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 51、52、62 がある場合 「大津波警報・津波警報・津波注意報」
- ・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN …}にて n が 4）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 60 のみがある場合 「津波注意報」
- ・津波警報・注意報を取り消す時（基本コード部での電文の種類 mn が 10 または 11）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 62 のみがある場合 「津波注意報」  
となる

この結果、「電文タイトル」の漢字かな文への記述は、

「大津波警報・津波警報・津波注意報」

「大津波警報・津波警報」

「大津波警報・津波注意報」

「大津波警報」

「津波警報・津波注意報」

「津波警報」

「津波注意報」

のいずれかとなる。

#### ④ $y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2$

#### 津波警報・注意報の発表時刻

$y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2$ ：津波警報・注意報の発表時刻。

基本コード部の電文発信時刻と基本的には同時刻であるが、津波警報・注意報の発表時刻を分単位、電文発信時刻を秒単位で与えていることから、発信のタイミングによっては両者の分の値が異なることもあり得る。取り消し時は“////////”とする。

#### ⑤ {T IN n }

#### 津波警報・注意報の概略

注) {}はコードに含まれない。

T IN：警報・注意報内容の概略を示す部分の識別子。

n：警報・注意報内容の概略を示す

0：最初の津波警報・注意報である。

1：津波警報・注意報の切り替えあるいは、追加あるいは津波警報・注意報の種類を変更せず津波到達予想時刻・予想される津波の高さを更新する場合のみが含まれる。

2：津波警報・注意報の切り替えあるいは、追加あるいは津波警報・注意報の種類を変更せず津波到達予想時刻・予想される津波の高さを更新する場合に加えて、津波警報・注意報の解除が含まれる。

3：津波警報・注意報の解除のみが含まれる。津波警報・注意報はまだ一部に残る。

4：津波警報・注意報は全て解除される。

5～9：予備

津波警報・注意報の概略の漢字かな文への記述については、「基本コード部」の電文の種類、「見出し情報」{T HD …}の漢字かな文への記述の有無、「津波警報・注意報の概略」{T IN …}における警報・注意報内容の概略、「津波警報・注意報の本文」{T FR …}における発表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等の内容により判別を行い動的表現とする。

通常 (nn が 00 または 01) の場合、見出し情報が記載されていない時 ({T HD …}にて p が 0) に、漢字かな文に記載する (見出し情報が記載されている時 ({T HD …}にて p が 1) には、記載しない)。

・津波警報・注意報の切り替え、一部解除時 ({T IN …}にて n が 1、2 または 3) は、切り替え、一部解除後の各予報区についての津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) による総和表現とする 「50:警報解除」は大津波警報または津波警報の解除であることに注意

・津波警報・注意報を全て解除する時 ({T IN …}にて n が 4) は、解除時の各予報区についての津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) による総和表現とする 「50:警報解除」は大津波警報または津波警報の解除であることに注意

(最初の津波警報・注意報である時 ({T IN …}にて n が 0) には、必ず見出し情報を記載しており ({T HD …}にて p が 1)、津波警報・注意報の概略は記載しない)

取り消し (nn が 10 または 11) の場合、取り消し前の各予報区についての津波警報・注意報の種類 (CH 識別子以前の T FR 項における  $f_2f_2$ ) による総和表現とする。

例)

・津波警報・注意報の切り替え、または一部解除時 ({T IN …}にて n が 1、2 または 3)、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある場合 「大津波警報・津波警報・津波注意報」

・津波警報・注意報を全て解除する時 ({T IN …}にて n が 4)、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 60 のみがある場合 「津波注意報」

・津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある場合 「大津波警報・津波警報・津波注意報」

・津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 62 のみがある場合 「津波注意報」

となる

この結果、「津波警報・注意報の概略」の漢字かな文への記述は、

「大津波警報・津波警報・津波注意報の切り替えをお知らせします。」  
「大津波警報・津波警報の切り替えをお知らせします。」  
「大津波警報・津波注意報の切り替えをお知らせします。」  
「大津波警報の切り替えをお知らせします。」  
「津波警報・津波注意報の切り替えをお知らせします。」  
「津波警報・津波注意報の一部解除をお知らせします。」(※大津波警報解除を含む)  
「津波警報・津波注意報の解除をお知らせします。」(※大津波警報解除を含む)  
「津波警報の切り替えをお知らせします。」  
「津波警報の一部解除をお知らせします。」(※大津波警報解除を含む)  
「津波警報の解除をお知らせします。」(※大津波警報解除を含む)  
「津波注意報の切り替えをお知らせします。」  
「津波注意報の一部解除をお知らせします。」  
「津波注意報の解除をお知らせします。」  
「〇〇日〇〇時〇〇分の大津波警報・津波警報・津波注意報を取り消します。」  
「〇〇日〇〇時〇〇分の大津波警報・津波警報を取り消します。」  
「〇〇日〇〇時〇〇分の大津波警報・津波注意報を取り消します。」  
「〇〇日〇〇時〇〇分の大津波警報を取り消します。」  
「〇〇日〇〇時〇〇分の津波警報・津波注意報を取り消します。」  
「〇〇日〇〇時〇〇分の津波警報を取り消します。」  
「〇〇日〇〇時〇〇分の津波注意報を取り消します。」  
のいずれかとなる。

⑥ {T HD p w rrr ff x rrr ff x ...} 見出し情報

注) {}はコードに含まれない。

T HD：見出し情報の部分であることを示す識別子。

p：見出し情報を漢字かな文に記述するかどうかを示す。

0：記述しない

1：記述する

w：見出しに記述する津波警報・注意報の種類を示す。

1：大津波警報・津波の津波警報

(本文への記述は「大津波警報・津波の津波警報を発表しました。」)

2：津波の津波警報 (本文への記述は「津波警報を発表しました。」)

3：津波注意報 (本文への記述は「津波注意報を発表しました。」)

4：津波警報・注意報の種類の高い方への切り替えのみのため、見出しのコードは空  
({T HD}はここで終わり、{T FR}に続く。漢字かな文には記述しないのでpは0とする)

5：津波警報・注意報の解除のみのため、見出しのコードは空

({T HD}はここで終わり、{T FR}に続く。漢字かな文には記述しないのでpは0とする)

6～9：予備

rrr：見出し情報に用いる地域名(別表1)を示す

ff：津波警報・注意報の種類を示す。

- 51: ~~津波~~の津波警報
- 52: ~~大津波~~の津波警報
- 62: 津波注意報
- x: 津波が直ちに到達するかどうかを示す（当面使用不可とする）
- 0: しない
- 1: する

津波警報・注意報の種類の変更がなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さの更新のみを行った予報区も含めて見出しに記述される。ただし、津波警報・注意報の種類を変更する予報区がなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の更新のみを行う場合、漢字かな文への記述は「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報を更新しました。」となり、予報区名は記述されない。

⑦ {T FR rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x ...} 津波警報・注意報の本文  
注) {}はコードに含まれない。

T FR: 津波警報・注意報の本文の部分であることを示す識別子。  
rrr: 予報区番号（別表2）を示す。

（予報を新たに発表する予報区、~~あるいは~~予報を変更する予報区、あるいは津波到達予想時刻・予想される津波の高さの更新を行った予報区のみを記述する。）

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub>: 発表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等を示す。

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>が前の警報・注意報、右のf<sub>2</sub>f<sub>2</sub>が現在の津波警報・注意報の種類を示す。ただし、津波警報・注意報が発表されていない予報区（すでに解除された予報区を含む）に新たに津波警報・注意報を発表する場合は、左のf<sub>1</sub>f<sub>1</sub>は00とする。

50: 津波警報解除（大津波警報または津波警報の解除）

51: ~~津波~~の津波警報

52: ~~大津波~~の津波警報

60: 津波注意報解除

61: 津波なしの津波注意報（※現在は使用していない）

62: 津波注意報

- x: 津波が直ちに到達するかどうかを示す
- 0: しない
- 1: する

津波警報・注意報の種類の変更がなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さの更新のみを行った予報区については、コードには記述するが漢字かな文には記述しない。この場合、f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>とf<sub>2</sub>f<sub>2</sub>は同じコードになる。

津波警報・注意報の種類を変更する予報区がなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の更新のみを行う場合、漢字かな文への記述は

「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報を更新しました。（改行）」

詳しくは津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報を参照して（改行）

ください。」  
となる。

⑧ {T AR rrr rrr ...}

直ちに来襲する予報区

注) {}はコードに含まれない。

該当する予報区がない場合はこの部分のコードはつかない。該当する予報区は、{T FR}でxを1にした予報区を改めて並べたものである。

T AR:直ちに津波が来襲すると予想される予報区を示す部分であることを示す識別子。

rrr:予報区番号(別表2)を示す。

⑨ {T FN rrr ff rrr ff ...}

現在の津波警報・注意報の発表状況

注) {}はコードに含まれない。

この津波警報・注意報の発表によって津波警報・注意報が発表されている予報区がなくなる場合には、この部分のコードはつかない。

T FN:各予報区の現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。

全国分の予報区を対象とする。

rrr:予報区番号(別表2)を示す

ff:発表されている津波警報・注意報の種類を示す。

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

62:津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況{T FN ...}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類(ff)の内容により判別を行い、動的表現(総和表現)とする

例)

・津波警報・注意報の発表時、切り替え、または一部解除時、津波警報・注意報の種類(ff)に51、52、62がある場合 「大津波警報・津波警報・津波注意報」となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、

「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在大津波警報・津波警報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在大津波警報・津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在大津波警報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在津波警報・津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在津波警報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです。」

のいずれかとなる

⑩ {T OP n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>}

付加情報

注) {}はコードに含まれない。

T OP：津波警報・注意報に関する付加情報であることを示す識別子。

n<sub>1</sub>：津波警報・注意報の概略を示す

0：最初の津波警報・注意報である。

1：津波警報・注意報の切り替えあるいは、追加あるいは津波警報・注意報の種類を変更せず津波到達予想時刻・予想される津波の高さを更新する場合のみが含まれる。

2：津波警報・注意報の切り替えあるいは、追加あるいは津波警報・注意報の種類を変更せず津波到達予想時刻・予想される津波の高さを更新する場合に加え、津波警報・注意報の解除が含まれる。

3：津波警報・注意報の解除のみが含まれる。津波警報・注意報はまだ一部に残る。

4：津波警報・注意報は全て解除される。

5～9：予備

n<sub>2</sub>：津波警報・注意報解除後の海面変動の程度を示す付加文。

0：何も示さない。

1：「今後若干の海面変動があるかもしれません。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください。」

2：「今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください。」

3：「今後もしばらく海面変動が続くと思われます。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください。」

4：「今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、海水浴や磯釣り等を行う際は注意してください。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください。」

5：「今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、磯釣り等を行う際は注意してください。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください。」

6～9：予備

n<sub>3</sub>：見出し情報に対する付加文を示す。管区版では常に0とする。(※平成24年度改訂後以降の電文では1～3は使用しない)

0：付加文なし

1：「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」(改行)

「なお、これ以外に津波注意報を公表している沿岸があります」

2：「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」

3：「なお、これ以外に津波注意報を公表している沿岸があります」

4：「ただちに避難してください。」

5：「東日本大震災クラスの津波が来襲します。(改行)

ただちに避難してください。」

6：「沖合で高い津波を観測したため大津波警報・津波警報に切り替えました。(改行)

ただちに避難してください。」

7：「沖合で高い津波を観測したため大津波警報に切り替えました。(改行)

ただちに避難してください。」

8：「沖合で高い津波を観測したため津波警報に切り替えました。(改行)

ただちに避難してください。」

9：「沖合で高い津波を観測したため予想される津波の高さを切り替えました。」

4～9:予備

n<sub>4</sub>:津波警報に対する付加文 (※平成 24 年度改訂後以降の電文では常に 0 とする)

(新たに津波警報が発表される予報区と、津波注意報から津波警報に切り替えられる予報区に対する付加文)

0:付加文なし

1:「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」

2～9:予備

n<sub>5</sub>:津波注意報に対する付加文

(新たに津波注意報が発表される予報区と、津波警報から津波注意報に切り替えられる予報区に対する付加文)

0:付加文なし

1～9:当面は予備

n<sub>6</sub>:津波警報・注意報の発表状況に対する付加文を示す。

0:付加文なし

1:「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配(改行)はありません。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください。」

2:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」(全解除時に使用する)

3:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」(取り消し時に使用する。)

4～9:予備

n<sub>7</sub>: (部内コード)

津波警報・注意報の発表状況( {T FN …} 及び、この n<sub>6</sub> から成る) の部分を漢字かな文に記述するかどうかを示す。

0:しない

1:する( {T FN …} と {T OP …} の n<sub>6</sub> を変換)

2:する( {T OP …} の n<sub>6</sub> のみを変換)

n<sub>8</sub>: 内容欠如についての付加文を示す。

0: 付加文なし(内容の欠如なし)

1:「なお、札幌管区気象台管内の内容は含まれていません」

2:「なお、仙台管区気象台管内の内容は含まれていません」

3:「なお、東京管区気象台管内の内容は含まれていません」

4:「なお、大阪管区気象台管内の内容は含まれていません」

5:「なお、福岡管区気象台管内の内容は含まれていません」

6:「なお、沖縄気象台管内の内容は含まれていません」

7:「なお、2箇所以上の津波予報中枢の内容が含まれていません」

n<sub>9</sub>: 予備

⑪ {T HR rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x...}

津波警報・注意報の変更

注) {} はコードに含まれない。

領域内の最大の津波警報・注意報の種類に変更がある場合にのみ、このコードがつく。

このコードは漢字かな文には記述しない。

T HR：領域内の最大の津波警報・注意報の種類の変更を表す部分であることを示す識別子。

rrr：領域番号（別表3）を示す。

$f_1f_2f_1f_2$ ：領域内で発表されている最大の津波警報・注意報の種類を示す。

$f_1f_1$ が前の津波警報・注意報におけるもの、右の $f_2f_2$ が現在のものを示す。ただし、今回新たに発表する領域については、左の $f_1f_1$ は00とする。新たに発表する場合、あるいは変更がある領域のみ記述する。

50: ~~津波警報解除~~ （大津波警報または津波警報の解除）

51: ~~津波の~~津波警報

52: ~~大津波の~~津波警報

60: 津波注意報解除

61: 津波なしの津波注意報（※現在は使用していない）

62: 津波注意報

x: 津波が直ちに到達するかどうかを示す

0: しない

1: する

## ⑫ {T HN rrr ff rrr ff ...}

## 領域内の最大の津波警報・注意報

注) {}はコードに含まれない。

この津波警報・注意報の発表によって津波警報・注意報が発表されている予報区がなくなる場合には、この部分のコードはつかない。

このコードは漢字かな文には記述しない。

T HN：領域内の最大の津波警報・注意報の種類の現状を示す部分。

rrr：領域番号（別表3）を示す

ff：領域内に発表されている最大の津波警報・注意報の種類を示す。

51: ~~津波の~~津波警報

52: ~~大津波の~~津波警報

62: 津波注意報

## ⑬ {T QF Rrrr ff $y_1y_2$ yymmddhhmm x cccc Rrrr ff $y_1y_2$ yymmddhhmm x cccc ...}

注) {}はコードに含まれない。

このコードは、津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の{T QF}と同一構成であり、内容に変更があるときには「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」をあわせて発表する。

この部分は、漢字かな文には記述しない。

T QF：予報区に対する津波到達予想時刻・予想される津波の高さの部分であることを示す識別子。

Rrrr: Rは予報区番号を報ずることを示す。rrrは予報区番号（別表2）。

ff: 発表された津波警報・注意報の種類を示す。

51: ~~津波の~~津波警報

52: ~~大津波の~~津波警報

62: 津波注意報

$y_1y_2$ : 第1波の津波到達予想時刻の欄の本文の表現、第1波の津波到達予想時刻に変更があるかどうかを示す。

$y_1$ は第1波の津波到達予想時刻の本文の表現を示す。

(津波警報・注意報の漢字かな文にこの部分を記述することはないので、ここではこの部分のコードを利用する場合は、という意味である。)

0:時刻を記述する。第1波の津波到達予想時刻の欄に#はつけない。

1:時刻を記述する。#をつける。

2:「既に津波到達中と推測」と記述する。#はつけない。

3:「既に津波到達中と推測」と記述する。#をつける。

4:「第1波の津波到達を確認」と記述する。#はつけない。

5:「第1波の津波到達を確認」と記述する。#をつける。

$y_2$ は①第1波の津波到達予想時刻に更新があるかどうか、②漢字かな文の予報区名の左に#をつけるかどうかを示す。

(津波警報・注意報の漢字かな文にはこの部分を記述することはないので、ここではもし漢字かな文に直すとしたら、という意味である。)

0:下記以外

1:第1波の津波到達予想時刻を早い方に更新する予報区であることを示す。

(前回発表の情報で時刻を//////////とし、今回具体的な時刻をコードで示す場合を含む。)

2:第1波の津波到達予想時刻を遅い方に更新する予報区であることを示す。

3:警報・注意報の切り替えに伴い今回新たに発表する予報区であることを示す。

予報区名に#をつける。

yyymmddhhmm : 第1波津波の到達予想時刻 (年月日時分)。不明の場合は//////////とする。

x : ①予想される津波の最大波の高さに変更があるかどうか、②漢字かな文の高さの欄の左に#をつけるかどうかを示す。

(津波警報・注意報の漢字かな文にはこの部分を記述することはないので、ここではもし漢字かな文に直すとしたら、という意味である。)

0:下記以外、#はつけない。

1:予想される津波の最大波の高さを高い方に変更

(前回発表していない予報区の場合 ( $y_2$ を3にした場合) と、前回高さを LLL/、LL//、L///あるいは////と発表し、今回具体的な数値をコードで示す場合を含む) し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) もより高い方に変更されている。#をつける。

2:予想される津波の最大波の高さを高い方に変更

(前回高さを LLL/、LL//、L///あるいは////と発表し、今回具体的な数値をコードで示す場合を含む) し、且つ津波警報・注意報の種類 (ff) は変更されていない。#をつける。

3:予想される津波の最大波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) もより低い方に変更されている。#をつける。

4:予想される津波の最大波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) は変更されていない。#をつける。

5:予想される津波の最大波の高さに変更はないが、津波減衰に伴う津波警報・注意報の切り替えを行った予報区である。#はつけない。この時高さは////とする。

cccc:予想される津波の最大波の高さ(cm 単位)。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを 0000 とする。

「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合（ccc/の形）が「以上超」、/が先頭に入る場合（/cccの形）が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合、あるいは津波の減衰に伴う切り替えを行った場合はこのコードを////とする。

（凡例）

0100:1.00m (.00 まで有効)

010L:1.0m (.0 まで有効)

01LL:1m

10L/:10m 以上超

マグニチュードが8を超える巨大地震と推定されるなど、地震規模の推定の不確実性が大きいときは、具体的な数値を示さず、予想される津波の高さを津波警報等の種類に応じて定性的に表現する。

（凡例）

LLL/:巨大 大津波警報の場合

LL//:高い 津波警報の場合

L///:なし（漢字かな文中では表記しない） 津波注意報の場合

#### ⑭ CH {T FN …} {T OP …} {T HN …} 取り消し内容、および取り消し後の発表状況

注) {}はコードに含まれない。

このコードは取り消しの場合にのみ付く。

CH：取り消し内容、および取り消し後の、津波警報・注意報の発表状況であることを示す識別子。

取り消し電文の場合は、{T HD …}から CH までが取り消す内容であることを合わせて示している。

T FN …：発表状況

T OP …：付加情報

T HN …：最大の津波警報・注意報

それぞれ⑧、⑨、⑪項で説明したものと同様である。

ただし、T OP …については、 $n_1$ 、 $n_2$ 、 $n_3$ 、 $n_4$ 、 $n_5$ 、 $n_8$ は常に0とする。

取り消し内容の漢字かな文への記述については、CH 識別子以前の「津波警報・注意報の本文」{T FR …}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) の内容により判別を行い、動的表現（総和表現）とする

例)

津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある時 「大津波警報・津波警報・津波注意報」

津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 62 のみがある時 「津波注意報」となる

この結果、「取り消し内容」の漢字かな文への記述は、

「以上の大津波警報・津波警報・津波注意報を取り消します。」

「以上の大津波警報・津波警報を取り消します。」

「以上の大津波警報・津波注意報を取り消します。」

「以上の大津波警報を取り消します。」

「以上の津波警報・津波注意報を取り消します。」

「以上の津波警報を取り消します。」

「以上の津波注意報を取り消します。」

のいずれかとなる。

⑮ 9999

コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。

■ 津波警報・注意報の例

ツミヨウ 11 材カ

30 04 00 110311145000 C11 E0 // 1103111449 T IN O T HD 1 1  
291 52 1 101 51 0 300 51 0 310 51 0 320 51 0 T FR 210 0052 1 220  
0052 0 250 0052 0 101 0051 0 201 0051 0 300 0051 0 310 0051 0 320  
0051 0 100 0062 0 102 0062 0 200 0062 0 311 0062 0 321 0062 0 330  
0062 0 380 0062 0 390 0062 0 400 0062 0 530 0062 0 580 0062 0 610  
0062 0 760 0062 0 771 0062 0 772 0062 0 T AR 210 T FN 210 52 220 52  
250 52 101 51 201 51 300 51 310 51 320 51 100 62 102 62 200 62 311  
62 321 62 330 62 380 62 390 62 400 62 530 62 580 62 610 62 760 62  
771 62 772 62 T OP 005000000 T HR 291 0052 1 191 0051 0 491 0051 0  
492 0051 0 292 0062 0 494 0062 0 691 0062 0 791 0062 0 793 0062 0 T  
HN 291 52 191 51 491 51 492 51 292 62 494 62 691 62 791 62 793 62 T  
QF R210 52 20 1103111450 0 LLL/ R220 52 00 1103111500 0 LLL/ R250 52  
00 1103111510 0 LLL/ R101 51 00 1103111530 0 LL// R201 51 00  
1103111530 0 LL// R300 51 00 1103111530 0 LL// R310 51 00 1103111520  
0 LL// R320 51 00 1103111520 0 LL// R100 62 00 1103111530 0 L///  
R102 62 00 1103111540 0 L/// R200 62 00 1103111610 0 L/// R311 62 00  
1103111520 0 L/// R321 62 00 1103111600 0 L/// R330 62 00 1103111530  
0 L/// R380 62 00 1103111530 0 L/// R390 62 00 1103111610 0 L///  
R400 62 00 1103111600 0 L/// R530 62 00 1103111610 0 L/// R580 62 00  
1103111640 0 L/// R610 62 00 1103111630 0 L/// R760 62 00 1103111700  
0 L/// R771 62 00 1103111710 0 L/// R772 62 00 1103111710 0 L///  
9999

大津波警報・津波警報・津波注意報  
平成23年 3月11日14時49分 気象庁発表

\*\*\*\*\* 見出し \*\*\*\*\*  
東日本大震災クラスの津波が来襲します。  
ただちに避難してください。  
大津波警報・津波警報を発表しました。  
東北地方太平洋沿岸、北海道太平洋沿岸中部、茨城県、  
千葉県九十九里・外房、伊豆諸島

\*\*\*\*\* 本文 \*\*\*\*\*  
大津波警報を発表した沿岸は次のとおりです。  
<大津波警報>  
\*岩手県、宮城県、福島県

津波警報を発表した沿岸は次のとおりです。  
<津波警報>  
北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、茨城県、  
千葉県九十九里・外房、伊豆諸島

津波注意報を発表した沿岸は次のとおりです。  
<津波注意報>  
北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸西部、青森県日本海沿岸、  
千葉県内房、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、静岡県、愛知県外海、  
三重県南部、和歌山県、徳島県、高知県、宮崎県、種子島・屋久島地方、  
奄美諸島・トカラ列島

以下の沿岸（上記の\*印で示した沿岸）ではただちに津波が来襲すると予想  
されず。  
岩手県

(つづく)

(つづき)

\*\*\*\*\* 解説 \*\*\*\*\*

<大津波警報>

大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。  
沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

<津波警報>

津波による被害が発生します。  
沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

<津波注意報>

海の中や海岸付近は危険です。  
海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。  
潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないようにしてください。

三

## 2. 震源要素を付加した津波警報・注意報のコード (aa : ~~01~~、~~02~~、0330)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn yiyimimididihihimimisisi Cnf Ee yymddhhmm y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 yymddhhmm kkk xxx yy zzz  
nddd ndddd hhh mm {T IN …} {T HD …} {T FR …} {T AR…} {T FN …} {T OP …} {T HR …} {T  
HN …} {T QF} (CH {T FN …} {T OP …} {T HN …}) 9999
```

注)

- ・ ()、{} はコードには含まれない。
- ・ ()内は、取り消しの場合のみ付ける。
- ・ {T IN …} {T HD …} {T FR …} {T AR…} {T FN …} {T OP …} {T HR …} {T HN …} {T QF} のコード構成は以下で説明する。
- ・ {T AR …} {T FN …} {T HR …} {T HN …} {T QF} のコードはつかないことがある。
- ・ 取り消し時は、{T HD …} から CH までが取り消すべき電文の内容、CH 以後が取り消し後の津波警報・注意報の発表状況を示す。

### ■ 各コードの説明

#### ① aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf 基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

#### ② Ee yymddhhmm 最初の津波警報・注意報の判別

E : 最初の津波警報・注意報電文であるか否かを示す部分であることの識別子

e : 最初の津波警報・注意報電文であるか否かを示す

0 : 現在津波警報・注意報が発表されていない (つまり、最初の津波警報・注意報電文である)

1 : 現在津波警報・注意報が発表されている (つまり、以前発表した津波警報・注意報の追加・解除・切り替え・取り消しである。)

yymddhhmm : 過去最新の津波警報・注意報の発表時刻。

通常 (nn が 00 または 01) の場合、e が 1 の場合は過去最新の津波警報・注意報電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示し、e が 0 の場合は “//////////” とする。取り消しの場合は、取り消すべき津波警報・注意報電文の発表時刻を示す。

#### ③ 電文タイトル

電文タイトルの漢字かな文への記述については、「津波警報・注意報の概略」{T IN …} における警報・注意報内容の概略、「津波警報・注意報の本文」{T FR …} における発

表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等の内容により判別を行い動的表現とする。

- ・津波警報・注意報の発表時（{T IN …}にて n が 0）は、発表後の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする
- ・津波警報・注意報の切り替え、一部解除時（{T IN …}にて n が 1、2 または 3）は、切り替え、一部解除後の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする。
- ・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN …}にて n が 4）は、解除時の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする
- ・取り消し時（基本コード部での電文の種類 mn が 10 または 11）は、取り消し前の各予報区についての津波警報・注意報の種類（CH 識別子以前の T FR 項における  $f_2f_2$ ）による総和表現とする。

例)

- ・津波警報・注意報の発表時、切り替え、または一部解除時（{T IN …}にて n が 0、1、2 または 3）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 51、52、62 がある場合 「大津波警報・津波警報・津波注意報」
- ・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN …}にて n が 4）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 60 のみがある場合 「津波注意報」
- ・津波警報・注意報を取り消す時（基本コード部での電文の種類 mn が 10 または 11）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 62 のみがある場合 「津波注意報」  
となる

この結果、「電文タイトル」の漢字かな文への記述は、

「大津波警報・津波警報・津波注意報」

「大津波警報・津波警報」

「大津波警報・津波注意報」

「大津波警報」

「津波警報・津波注意報」

「津波警報」

「津波注意報」

のいずれかとなる。

#### ④ $y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2$

#### 津波警報・注意報の発表時刻

$y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2$ ：津波警報・注意報の発表時刻。

基本コード部の電文発信時刻と基本的には同時刻であるが、津波警報・注意報の発表時刻を分単位、電文発信時刻を秒単位で与えていることから、発信のタイミングによっては両者の分の値が異なることもあり得る。取り消し時は“//////////”とする。

#### ⑤ $yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm$

#### 震源要素

$yymmddhhmm$ ：発現時刻（年月日時分）



についての津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) による総和表現とする (「50:警報解除」は大津波警報または津波警報の解除であることに注意)

(最初の津波警報・注意報である時 ( $\{T IN \dots\}$ にて  $n$  が 0) には、必ず見出し情報を記載しており ( $\{T HD \dots\}$ にて  $p$  が 1)、津波警報・注意報の概略は記載しない)

取り消し ( $nm$  が 10 または 11) の場合、取り消し前の各予報区についての津波警報・注意報の種類 (CH 識別子以前の T FR 項における  $f_2f_2$ ) による総和表現とする  
例)

- ・津波警報・注意報の切り替え、または一部解除時 ( $\{T IN \dots\}$ にて  $n$  が 1、2 または 3)、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある場合 「大津波警報・津波警報・津波注意報」
- ・津波警報・注意報を全て解除する時 ( $\{T IN \dots\}$ にて  $n$  が 4)、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 60 のみがある場合 「津波注意報」
- ・津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある場合 「大津波警報・津波警報・津波注意報」
- ・津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 62 のみがある場合 「津波注意報」となる

この結果、「津波警報・注意報の概略」の漢字かな文への記述は、

「大津波警報・津波警報・津波注意報の切り替えをお知らせします。」

「大津波警報・津波警報の切り替えをお知らせします。」

「大津波警報・津波注意報の切り替えをお知らせします。」

「大津波警報の切り替えをお知らせします。」

「津波警報・津波注意報の切り替えをお知らせします。」

「津波警報・津波注意報の一部解除をお知らせします。」(※大津波警報解除を含む)

「津波警報・津波注意報の解除をお知らせします。」(※大津波警報解除を含む)

「津波警報の切り替えをお知らせします。」

「津波警報の一部解除をお知らせします。」(※大津波警報解除を含む)

「津波警報の解除をお知らせします。」(※大津波警報解除を含む)

「津波注意報の切り替えをお知らせします。」

「津波注意報の一部解除をお知らせします。」

「津波注意報の解除をお知らせします。」

「〇〇日〇〇時〇〇分の大津波警報・津波警報・津波注意報を取り消します。」

「〇〇日〇〇時〇〇分の大津波警報・津波警報を取り消します。」

「〇〇日〇〇時〇〇分の大津波警報・津波注意報を取り消します。」

「〇〇日〇〇時〇〇分の大津波警報を取り消します。」

「〇〇日〇〇時〇〇分の津波警報・津波注意報を取り消します。」

「〇〇日〇〇時〇〇分の津波警報を取り消します。」

「〇〇日〇〇時〇〇分の津波注意報を取り消します。」

のいずれかとなる。

## ⑦ {T HD p w rrr ff x rrr ff x ...}

## 見出し情報

注) {} はコードに含まれない。

T HD: 見出し情報の部分であることを示す識別子。

p: 見出し情報を漢字かな文に記述するかどうかを示す。

- 0: 記述しない
- 1: 記述する
- w: 見出しに記述する津波警報・注意報の種類を示す。
  - 1: 大津波警報・津波の津波警報  
(本文への記述は「大津波警報・津波の津波警報を發表しました。」)
  - 2: 津波の津波警報 (本文への記述は「津波警報を發表しました。」)
  - 3: 津波注意報 (本文への記述は「津波注意報を發表しました。」)
  - 4: 津波警報・注意報の種類の高い方への切り替えのみのため、見出しのコードは空  
({T HD}はここで終わり、{T FR}に続く。漢字かな文には記述しないのでpは0とする)
  - 5: 津波警報・注意報の解除のみのため、見出しのコードは空  
({T HD}はここで終わり、{T FR}に続く。漢字かな文には記述しないのでpは0とする)
  - 6~9: 予備
- rrr: 見出し情報に用いる地域名(別表1)を示す
- ff: 津波警報・注意報の種類を示す。
  - 51: 津波の津波警報
  - 52: 大津波の津波警報
  - 62: 津波注意報
- x: 津波が直ちに到達するかどうかを示す(当面使用不可とする)
  - 0: しない
  - 1: する

津波警報・注意報の種類の変更がなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さの更新のみを行った予報区も含めて見出しに記述される。ただし、津波警報・注意報の種類を変更する予報区がなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の更新のみを行う場合、漢字かな文への記述は「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報を更新しました。」となり、予報区名は記述されない。

⑧ {T FR rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x ...} 津波警報・注意報の本文

注) {}はコードに含まれない。

T FR: 津波警報・注意報の本文の部分であることを示す識別子。

rrr: 予報区番号(別表2)を示す。

(予報を新たに発表する予報区、~~あるいは~~予報を変更する予報区、あるいは津波到達予想時刻・予想される津波の高さの更新を行った予報区のみを記述する。)

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub>: 発表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等を示す。

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>が前の予報、右のf<sub>2</sub>f<sub>2</sub>が現在の予報の種類を示す。ただし、津波警報・注意報が発表されていない予報区(すでに解除された予報区を含む)に新たに津波警報・注意報を発表する場合は、左のf<sub>1</sub>f<sub>1</sub>は00とする。

- 50: 津波警報解除(大津波警報または津波警報の解除)
- 51: 津波の津波警報

- 52:大津波の津波警報
- 60:津波注意報解除
- 61:津波なしの津波注意報（※現在は使用していない）
- 62:津波注意報
- x:津波が直ちに到達するかどうかを示す
  - 0:しない
  - 1:する

津波警報・注意報の種類の変更がなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さの更新のみを行った予報区については、コードには記述するが漢字かな文には記述しない。この場合、 $f_1f_1$ と $f_2f_2$ は同じコードになる。

津波警報・注意報の種類を変更する予報区がなく、津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の更新のみを行う場合、漢字かな文への記述は「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報を更新しました。（改行）詳しくは津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報を参照して（改行）ください。」となる。

### ⑨ {T AR rrr rrr ...}

#### 直ちに來襲する予報区

- 注) {}はコードに含まれない。
- 該当する予報区がない場合はこの部分のコードはつかない。該当する予報区は、{T FR}でxを1にした予報区を改めて並べたものである。

T AR:直ちに津波が來襲すると予想される予報区を示す部分であることを示す識別子。  
rrr:予報区番号(別表2)を示す。

### ⑩ {T FN rrr ff rrr ff ...}

#### 現在の津波警報・注意報の発表状況

- 注) {}はコードに含まれない。
- この津波警報・注意報の発表によって津波警報・注意報が発表されている予報区がなくなる場合には、この部分のコードはつかない。

T FN:各予報区の現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。  
全国分の予報区を対象とする。  
rrr:予報区番号(別表2)を示す  
ff:発表されている津波警報・注意報の種類を示す。

- 51:津波の津波警報
- 52:大津波の津波警報
- 62:津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況{T FN ...}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類

(ff) の内容により判別を行い、動的表現（総和表現）とする

例)

・津波警報・注意報の発表時、切り替え、または一部解除時、津波警報・注意報の種類 (ff) に 51、52、62 がある場合 「大津波警報・津波警報・津波注意報」  
となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、

「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在大津波警報・津波警報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在大津波警報・津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在大津波警報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在津波警報・津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在津波警報を発表している沿岸は次のとおりです。」

「現在津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです。」

のいずれかとなる

#### ⑪ {T OP n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>}

#### 付加情報

注) {}はコードに含まれない。

T OP：津波警報・注意報に関する付加情報であることを示す識別子。

n<sub>1</sub>：津波警報・注意報の概略を示す

0:最初の津波警報・注意報である。

1:津波警報・注意報の切り替えあるいは、追加あるいは津波警報・注意報の種類を変更せず津波到達予想時刻・予想される津波の高さを更新する場合のみが含まれる。

2:津波警報・注意報の切り替えあるいは、追加あるいは津波警報・注意報の種類を変更せず津波到達予想時刻・予想される津波の高さを更新する場合に加え、津波警報・注意報の解除が含まれる。

3:津波警報・注意報の解除のみが含まれる。津波警報・注意報はまだ一部に残る。

4:津波警報・注意報は全て解除される。

5~9:予備

n<sub>2</sub>：津波警報・注意報解除後の海面変動の程度を示す付加文。

0:何も示さない。

1:「今後若干の海面変動があるかもしれません。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください。」

2:「今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください。」

3:「今後もしばらく海面変動が続くと思われます。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください。」

4:「今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、海水浴や磯釣り等を行う際は注意してください。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください。」

5:「今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、磯釣り等を行う際は注意(改行)してください。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください。」

6～9: 予備

n<sub>3</sub>: 見出し情報に対する付加文を示す。管区版では常に0とする。(※平成24年度改訂後以降の電文では1～3は使用しない)

0: 付加文なし

1: 「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」（改行）

「なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります」

2: 「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」

3: 「なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります」

4: 「ただちに避難してください。」

5: 「東日本大震災クラスの津波が来襲します。（改行）

ただちに避難してください。」

6: 「沖合で高い津波を観測したため大津波警報・津波警報に切り替えました。（改行）

ただちに避難してください。」

7: 「沖合で高い津波を観測したため大津波警報に切り替えました。（改行）

ただちに避難してください。」

8: 「沖合で高い津波を観測したため津波警報に切り替えました。（改行）

ただちに避難してください。」

9: 「沖合で高い津波を観測したため予想される津波の高さを切り替えました。」

4～9: 予備

n<sub>4</sub>: 津波警報に対する付加文 (※平成24年度改訂後以降の電文では常に0とする)

（新たに津波警報が発表される予報区と、津波注意報から津波警報に切り替えられる予報区に対する付加文）

0: 付加文なし

1: 「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」

2～9: 予備

n<sub>5</sub>: 津波注意報に対する付加文

（新たに津波注意報が発表される予報区と、津波警報から津波注意報に切り替えられる予報区に対する付加文）

0: 付加文なし

1～9: 当面は予備

n<sub>6</sub>: 津波警報・注意報の発表状況に対する付加文を示す。

0: 付加文なし

1: 「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配（改行）はありません。」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください。」

2: 「現在 大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」（全解除時に使用する）

3: 「現在 大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」（取り消し時に使用する。）

4～9: 予備

n<sub>7</sub>: (部内コード)

津波警報・注意報の発表状況（{T FN …}）及び、ここの n<sub>6</sub> から成る）の部分を漢字かな文に記述するかどうかを示す。

- 0:しない
- 1:する（{T FN …} と {T OP …} の  $n_6$  を変換）
- 2:する（{T OP …} の  $n_6$  のみを変換）
- $n_8$ : 内容欠如についての付加文を示す。
  - 0: 付加文なし（内容の欠如なし）
  - 1: 「なお、札幌管区気象台管内の内容は含まれていません」
  - 2: 「なお、仙台管区気象台管内の内容は含まれていません」
  - 3: 「なお、東京管区気象台管内の内容は含まれていません」
  - 4: 「なお、大阪管区気象台管内の内容は含まれていません」
  - 5: 「なお、福岡管区気象台管内の内容は含まれていません」
  - 6: 「なお、沖縄気象台管内の内容は含まれていません」
  - 7: 「なお、2箇所以上の津波予報中枢の内容が含まれていません」
- $n_9$ : 予備

⑫ {T HR rrr  $f_1f_2f_2$  x rrr  $f_1f_2f_2$  x...} 津波警報・注意報の変更

注) {}はコードに含まれない。  
 領域内の最大の津波警報・注意報の種類に変更がある場合にのみ、このコードがつく。  
 このコードは漢字かな文には記述しない。

T HR: 領域内の最大の津波警報・注意報の種類の変更を表す部分であることを示す識別子。

rrr: 領域番号（別表3）を示す。

$f_1f_2f_2$ : 領域内で発表されている最大の津波警報・注意報の種類を示す。

$f_1f_1$ が前の津波警報・注意報におけるもの、右の  $f_2f_2$ が現在のものを示す。ただし、今回新たに発表する領域については、左の  $f_1f_1$ は 00 とする。新たに発表する場合、あるいは変更がある領域のみ記述する。

50: 津波警報解除 (大津波警報または津波警報の解除)

51: 津波の津波警報

52: 大津波の津波警報

60: 津波注意報解除

61: 津波なしの津波注意報（※現在は使用していない）

62: 津波注意報

x: 津波が直ちに到達するかどうかを示す

0: しない

1: する

⑬ {T HN rrr ff rrr ff ...} 領域内の最大の津波警報・注意報

注) {}はコードに含まれない。  
 この津波警報・注意報の発表によって津波警報・注意報が発表されている予報区がなくなる場合には、この部分のコードはつかない。  
 このコードは漢字かな文には記述しない。

T HN: 領域内の最大の津波警報・注意報の種類の実況を示す部分。

rrr: 領域番号（別表3）を示す

ff：領域内に発表されている最大の津波警報・注意報の種類を示す。

- 51:津波の津波警報
- 52:大津波の津波警報
- 62:津波注意報

⑭ {T QF Rrrr ff y<sub>1</sub>y<sub>2</sub> yymddhhmm x cccc Rrrr ff y<sub>1</sub>y<sub>2</sub> yymddhhmm x cccc ...}

注) {}はコードに含まれない。

このコードは、津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の{T QF}と同一構成であり、内容に変更があるときには「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」をあわせて発表する。

この部分は、漢字かな文には記述しない。

T QF：予報区に対する津波到達予想時刻・予想される津波の高さの部分であることを示す識別子。

Rrrr:Rは予報区番号を報ずることを示す。rrrは予報区番号(別表2)。

ff:発表された津波警報・注意報の種類を示す。

- 51:津波の津波警報
- 52:大津波の津波警報
- 62:津波注意報

y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>:第1波の津波到達予想時刻の欄の本文の表現、第1波の津波到達予想時刻に変更があるかどうかを示す。

y<sub>1</sub>は第1波の津波到達予想時刻の本文の表現を示す。

(津波警報・注意報の漢字かな文にこの部分を記述することはないので、ここではこの部分のコードを利用する場合は、という意味である。)

0:時刻を記述する。第1波の津波到達予想時刻の欄に#はつけない。

1:時刻を記述する。#をつける。

2:「既に津波到達中と推測」と記述する。#はつけない。

3:「既に津波到達中と推測」と記述する。#をつける。

4:「第1波の津波到達を確認」と記述する。#はつけない。

5:「第1波の津波到達を確認」と記述する。#をつける。

y<sub>2</sub>は①第1波の津波到達予想時刻に更新があるかどうか、②漢字かな文の予報区名の左に#をつけるかどうかを示す。

(津波警報・注意報の漢字かな文にはこの部分を記述することはないので、ここではもし漢字かな文に直すとしたら、という意味である。)

0:下記以外

1:第1波の津波到達予想時刻を早い方に更新する予報区であることを示す。

(前回発表の情報で時刻を//////////とし、今回具体的な時刻をコードで示す場合を含む。)

2:第1波の津波到達予想時刻を遅い方に更新する予報区であることを示す。

3:警報・注意報の切り替えに伴い今回新たに発表する予報区であることを示す。

予報区名に#をつける。

yymddhhmm：第1波津波の到達予想時刻(年月日時分)。不明の場合は//////////とする。

x：①予想される津波の最大波の高さに変更があるかどうか、②漢字かな文の高さの

欄の左に#をつけるかどうかを示す。

(津波警報・注意報の漢字かな文にはこの部分を記述することはないので、ここではもし漢字かな文に直すとしたら、という意味である。)

0: 下記以外、#はつけない。

1: 予想される津波の最大波の高さを高い方に変更

(前回発表していない予報区の場合 ( $y_2$  を 3 にした場合) と、前回高さを LLL/、LL//、L///あるいは////と発表し、今回具体的数値をコードで示す場合を含む) し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) もより高い方に変更されている。#をつける。

2: 予想される津波の最大波の高さを高い方に変更

(前回高さを LLL/、LL//、L///あるいは////と発表し、今回具体的数値をコードで示す場合を含む) し、且つ津波警報・注意報の種類 (ff) は変更されていない。#をつける。

3: 予想される津波の最大波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) もより低い方に変更されている。#をつける。

4: 予想される津波の最大波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) は変更されていない。#をつける。

5: 予想される津波の最大波の高さに変更はないが、津波減衰に伴う津波警報・注意報の切り替えを行った予報区である。#はつけない。この時高さは////とする。

cccc: 予想される津波の最大波の高さ(cm 単位)。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを 0000 とする。

「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合 (ccc/の形) が「以上超」、/が先頭に入る場合 (/ccc の形) が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合、あるいは津波の減衰に伴う切り替えを行った場合はこのコードを////とする。

(凡例)

0100: 1.00m (.00 まで有効)

010L: 1.0m (.0 まで有効)

01LL: 1m

10L/: 10m 以上超

マグニチュードが8を超える巨大地震と推定されるなど、地震規模の推定の不確定性が大きいときは、具体的な数値を示さず、予想される津波の高さを津波警報等の種類に応じて定性的に表現する。

(凡例)

LLL/: 巨大 大津波警報の場合

LL//: 高い 津波警報の場合

L///: なし (漢字かな文中では表記しない) 津波注意報の場合

## ⑮ CH {T FN …} {T OP …} {T HN …} 取り消し内容、および取り消し後の発表状況

注) {}はコードに含まれない。

このコードは取り消しの場合にのみ付く。

CH: 取り消し内容、および取り消し後の、津波警報・注意報の発表状況であることを

示す識別子。

取り消し電文の場合は、{T HD …}から CH までが取り消す内容であることを合わせて示している。

T FN … : 発表状況

T OP … : 付加情報

T HN … : 最大の津波警報・注意報

それぞれ⑧、⑨、⑪項で説明したものと同様である。

ただし、T OP …については、 $n_1$ 、 $n_2$ 、 $n_3$ 、 $n_4$ 、 $n_5$ 、 $n_8$ は常に0とする。

取り消し内容の漢字かな文への記述については、CH 識別子以前の「津波警報・注意報の本文」{T FR …}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) の内容により判別を行い、動的表現(総和表現)とする

例)

津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある時 「大津波警報・津波警報・津波注意報」

津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 62 のみがある時 「津波注意報」  
となる

この結果、「取り消し内容」の漢字かな文への記述は、

「以上の大津波警報・津波警報・津波注意報を取り消します。」

「以上の大津波警報・津波警報を取り消します。」

「以上の大津波警報・津波注意報を取り消します。」

「以上の大津波警報を取り消します。」

「以上の津波警報・津波注意報を取り消します。」

「以上の津波警報を取り消します。」

「以上の津波注意報を取り消します。」

のいずれかとなる。

## ⑩ 9999

## コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。



\*\*\*\*\* 解説 \*\*\*\*\*

<大津波警報>

大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。  
沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

<津波警報>

津波による被害が発生します。  
沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

<津波注意報>

海の中や海岸付近は危険です。  
海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。  
潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないようにしてください。

\*\*\*\*\* 震源要素の速報 \*\*\*\*\*

〔震源、規模〕

きょう11日14時46分頃地震がありました。  
震源地は、三陸沖（北緯38.0度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は8を超える巨大地震と推定されます。

三

### 3. 津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報

(aa:04、05、0631)

#### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf Ee y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh  
mm {T QF ...} {T FN ...} Afn1n2n3n4n5n6n7n8n9 9999
```

注)

- ・ {} はコードには含まれない。
- ・ {T QF ...} {T FN ...} の部分については以下で説明する。  
取り消し時は、[aa ~ Ee y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 9999]となる。

#### ■ 各コードの説明

##### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf 基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

##### ② Ee y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 最初の津波到達予測の判別

E : 最初に発表する津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報であるか否かを示す部分であることの識別子

e : 最初に発表する津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報であるか否かを示す

0 : 最初に発表する情報である

1 : 以前発表した情報の更新・取り消しである

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> : 津波到達予測時刻・予想される津波の高さに関する情報の発表時刻

通常 (nn が 00 または 01) 時は、e が 0 の時は “//////////” とし、e が 1 の場合は過去最新の津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示す。取り消し時は取り消す電文の発表時刻を示す。

過去最新電文での①基本コード部中の発信時刻「y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>」と、ここでの「y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>」が一致する。

##### ③ yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm 震源要素

yymmddhhmm : 発現時刻 (年月日時分)

kkk : 震央地名コード番号

xxx : 地点のコード番号 (別表 5) を示す

yy : 16 方位

zzz：距離

nddd：震央の緯度（単位：0.1度、北緯はn=0、南緯はn=1）

ndddd：震央の経度（単位：0.1度、東経はn=0、西経はn=1）

hhh：震源の深さ（単位：km）。不明の場合は“///”。

mm：マグニチュード（単位：0.1）。不明の場合は“//”。マグニチュードが8を超える巨大地震と推定される場合は“8/”。

震源要素を示す。ただし、不明あるいは未確定の場合は全て“////////// /// /// //  
/// /// //”とする。

不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法については、2-2地震関連電文の4.項（地震情報）の項目を参照

④ {T QF Rrrr ff y<sub>1</sub>y<sub>2</sub> yymmddhhmm x cccc Rrrr ff y<sub>1</sub>y<sub>2</sub> yymmddhhmm x cccc …}

注) {}はコードに含まれない。

このコードは、津波警報・注意報の{T QF}と同一構成である。内容について変更があるときには「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」を発表する。

T QF：予報区に対する津波到達予想時刻・予想される津波の高さの部分であることを示す識別子。

Rrrr：Rは予報区番号を報ずることを示す。rrrは予報区番号（別表2）。

ff：発表された津波警報・注意報の種類を示す。

51：~~津波~~津波警報

52：~~大津波~~津波警報

62：津波注意報

各予報区に発表された津波警報・注意報の種類は、過去最新の「津波警報・注意報」の内容と一致する。

y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>：第1波の津波到達予想時刻の欄の本文の表現、第1波の津波到達予想時刻に変更があるかどうかを示す。

y<sub>1</sub>は第1波の津波到達予想時刻の本文の表現を示す。

0：時刻を記述する。第1波の津波到達予想時刻の欄に#はつけない。

1：時刻を記述する。#をつける。

2：「~~既に津波到達中~~と推測」と記述する。#はつけない。

3：「~~既に津波到達中~~と推測」と記述する。#をつける。

4：「第1波の津波到達を確認」と記述する。#はつけない。

5：「第1波の津波到達を確認」と記述する。#をつける。

y<sub>2</sub>は①第1波の津波到達予想時刻に更新があるかどうか、②漢字かな文の予報区名の左に#をつけるかどうか、~~を~~を示す。

0：下記以外

1：第1波の津波到達予想時刻を早い方に更新する予報区であることを示す。（前回発表の情報で時刻を//////////とし、今回具体的な時刻をコードで示す場合を含む。）

2：第1波の津波到達予想時刻を遅い方に更新する予報区であることを示す。

3：警報・注意報の切り替えに伴い今回新たに発表する予報区であることを示す。予報区名に#をつける。

yymmddhhmm : 第1波の津波の到達予想時刻 (年月日時分)。

不明の場合は“////////”とする。

x : ①予想される津波の最大波の高さに変更があるかどうか、②漢字かな文の高さの欄の左に#をつけるかどうかを示す。

0: 下記以外、#はつけない。

1: 予想される津波の最大波の高さを高い方に変更 (前回発表していない予報区の場合 ( $y_2$ を3にした場合) と、前回高さを LLL/、LL//、L///あるいは////と発表し、今回具体的な数値をコードで示す場合を含む) し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) もより高い方に変更されている。#をつける。

2: 予想される津波の最大波の高さを高い方に変更 (前回高さを LLL/、LL//、L///あるいは////と発表し、今回具体的な数値をコードで示す場合を含む) し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) は変更されていない。#をつける。

3: 予想される津波の最大波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) もより低い方に変更されている。#をつける。

4: 予想される津波の最大波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) は変更されていない。#をつける。

5: 予想される津波の最大波の高さに変更はないが、津波減衰に伴う津波警報・注意報の切り替えを行った予報区である。#はつけない。この時高さは////とする。

cccc : 予想される津波の最大波の高さ (cm 単位)。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを 0000 とする。

「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合 (ccc/の形) が「以上超」、/が先頭に入る場合 (/cccの形) が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合、あるいは津波の減衰に伴う切り替えを行った場合はこのコードを////とする。

(凡例)

0100:1.00m (.00 まで有効)

010L:1.0m (.0 まで有効)

01LL:1m

10L/:10m 以上超

マグニチュードが8を超える巨大地震と推定されるなど、地震規模の推定の不確定性が大きいときは、具体的な数値を示さず、予想される津波の高さを津波警報等の種類に応じて定性的に表現する。

(凡例)

LLL/:巨大 大津波警報の場合

LL//:高い 津波警報の場合

L///:なし (漢字かな文中では表記しない) 津波注意報の場合

## ⑤ {T FN rrr ff rrr ff ...}

## 現在の津波警報・注意報の発表状況

注) {}はコードに含まれない。

このコードは、津波警報・注意報の{T FN}と同一構成であり、過去最新の「津波警報・注意報」の内容と一致する。

T FN：現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。

rrr：予報区番号を示す

ff：発表されている津波警報・注意報の種類を示す。

51: ~~津波~~の津波警報

52: 大~~津波~~の津波警報

62: 津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況{T FN …}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類(ff)の内容により判別を行い、動的表現(総和表現)とする

例)

・津波警報・注意報の発表、切り替え、または一部解除後に発表する津波情報にて、津波警報・注意報の種類(ff)に51、52、62がある場合「大津波警報・津波警報・津波注意報」  
となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、

「[現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸]」

「[現在大津波警報・津波警報を発表している沿岸]」

「[現在大津波警報・津波注意報を発表している沿岸]」

「[現在大津波警報を発表している沿岸]」

「[現在津波警報・津波注意報を発表している沿岸]」

「[現在津波警報を発表している沿岸]」

「[現在津波注意報を発表している沿岸]」

のいずれかとなる

## ⑥ Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>

## 付加文

付加文を意味する。非定型付加文の取扱は従来と同様。

A：付加文を示す識別子

f：付加文の有無を示す。

0：付加文は1つもない

1：付加文が1つ以上ある

n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>：この電文では使用しない。常に000。

n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>：津波に関する(発表状況に関する部分を除く)付加文を示す。

それぞれ以下の番号のいずれかが入る。これらは順不同である。同じ番号の付加文が複数付くことはない。付加文の入る位置は、予報文・各情報文毎に文例にて指定する。本電文では、2、3、4、5、7、8は使用しない。

0：付加文なし

1：「~~なお~~、場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる~~(改行)~~

可能性 (改行)  
があります。」

2：「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要 (改行)

です。」

3:「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますのでより十分な注意が必要 (改行) です。」

4:「場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達し (改行) ているおそれがあります。 ことが考えられます」

5:「今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます。」

6:「警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全 (改行) 全な場所へ避難してください。 (改行)

到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所に (改行)

よっては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる可能性があります。 (改行)

到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかることがありま (改行)

すので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な (改行)

場所から離れないでください。」

7:「津波による潮位変化が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上 (改行) かかることがあります。」

8:「沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります。」

n<sub>g</sub>:津波警報・注意報の発表状況に関する付加文を示す。

この情報では、2、3、4、5、6は使用しない。

0:付加文なし

1:「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配 (改行) はありません。」 (改行)

「詳しくは津波予報 (若干の海面変動) を参照ください。」

2:「現在 大津波警報・津波警報・津波 注意報を発表している沿岸はありません。」 (改行)

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれません。」 (改行)

「詳しくは津波予報 (若干の海面変動) を参照ください。」

3:「現在 大津波警報・津波警報・津波 注意報を発表している沿岸はありません。」 (改行)

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありませ (改行)

ん。」 (改行)

「詳しくは津波予報 (若干の海面変動) を参照ください。」

4:「現在 大津波警報・津波警報・津波 注意報を発表している沿岸はありません。」 (改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われます。」 (改行)

「詳しくは津波予報 (若干の海面変動) を参照ください。」

5:「現在 大津波警報・津波警報・津波 注意報を発表している沿岸はありません。」 (改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、海水浴や磯釣り等 (改行)

を行う際は注意して 平ください。」 (改行)

「詳しくは津波予報 (若干の海面変動) を参照ください。」

6:「現在 大津波警報・津波警報・津波 注意報を発表している沿岸はありません。」 (改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、磯釣り等を行う際 (改行)

は注意してください。」 (改行)

「詳しくは津波予報 (若干の海面変動) を参照ください。」

n<sub>9</sub>:予備

9999 : コード部の終了を示す。



(つづき)

[震源、規模]

きょう11日14時46分頃地震がありました。  
震源地は、三陸沖(北緯38.0度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近)で、震源の深さは約10km、地震の規模(マグニチュード)は8を超える巨大地震と推定されます。

三

② 予想される津波の高さを数値で表現する場合

(1 通目)

ツミ波の11材料

31 04 00 110311151200 C21 E1 1103111500 1103111446 288 202 05 130  
0380 01429 010 89 T QF R201 52 50 1103111510 0 05LL R210 52 40  
1103111450 2 10L/ R220 52 50 1103111500 2 10L/ R250 52 50 1103111510  
2 10LL R300 52 00 1103111530 1 05LL R310 52 00 1103111520 1 05LL  
R100 51 00 1103111530 1 03LL R101 51 00 1103111530 0 03LL R102 51 00  
1103111540 1 03LL R200 51 00 1103111610 1 03LL R311 51 00 1103111520  
1 03LL R320 51 00 1103111520 0 03LL R321 51 00 1103111600 1 03LL  
R111 62 13 1103111640 1 01LL R202 62 13 1103111620 1 01LL R312 62 13  
1103111540 1 01LL R330 62 00 1103111530 0 01LL R380 62 00 1103111530  
0 01LL R390 62 00 1103111610 0 01LL R391 62 13 1103111630 1 01LL  
R400 62 00 1103111600 0 01LL R522 62 13 1103111650 1 01LL R530 62 00  
1103111610 0 01LL R580 62 00 1103111640 0 01LL R600 62 13 1103111710  
1 01LL R610 62 00 1103111630 0 01LL R750 62 13 1103111750 1 01LL  
R751 62 13 1103111710 1 01LL R760 62 00 1103111700 0 01LL R770 62 13  
1103111710 1 01LL R771 62 00 1103111710 0 01LL R772 62 00 1103111710  
0 01LL R773 62 13 1103111720 1 01LL R800 62 13 1103111740 1 01LL  
R801 62 13 1103111710 1 01LL R802 62 13 1103111810 1 01LL T FN 210  
52 220 52 250 52 201 52 300 52 310 52 101 51 320 51 100 51 102 51  
200 51 311 51 321 51 330 62 380 62 390 62 400 62 530 62 580 62 610  
62 760 62 771 62 772 62 111 62 202 62 312 62 391 62 522 62 600 62  
750 62 751 62 770 62 773 62 800 62 801 62 802 62 A1000610010 9999

津波情報(津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報)  
平成23年 3月11日15時12分 気象庁発表

11日15時00分の津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する  
情報を更新します。

[津波到達予想時刻・予想される津波の高さ]

#印は新たに発表、あるいは情報を更新した箇所です。

津波到達予想時刻および予想される津波の高さは次のとおりです。

予報区名 第1波の到達予想時刻 予想される津波の最大波の高さ

<大津波警報>

青森県太平洋沿岸	#第1波の到達を確認	5m
岩手県	第1波の到達を確認	#10m超
宮城県	#第1波の到達を確認	#10m超
福島県	#第1波の到達を確認	#10m
茨城県	11日15時30分	#5m
千葉県九十九里・外房	11日15時20分	#5m

<津波警報>

北海道太平洋沿岸東部	11日15時30分	#3m
北海道太平洋沿岸中部	11日15時30分	3m
北海道太平洋沿岸西部	11日15時40分	#3m
青森県日本海沿岸	11日16時10分	#3m
千葉県内房	11日15時20分	#3m
伊豆諸島	11日15時20分	3m
小笠原諸島	11日16時00分	#3m

(つづく)

(つづき)

<津波注意報>

#北海道日本海沿岸南部	# 1 1 日 1 6 時 4 0 分	# 1 m
#陸奥湾	# 1 1 日 1 6 時 2 0 分	# 1 m
#東京湾内湾	# 1 1 日 1 5 時 4 0 分	# 1 m
相模湾・三浦半島	1 1 日 1 5 時 3 0 分	1 m
静岡県	1 1 日 1 5 時 3 0 分	1 m
愛知県外海	1 1 日 1 6 時 1 0 分	1 m
#伊勢・三河湾	# 1 1 日 1 6 時 3 0 分	# 1 m
三重県南部	1 1 日 1 6 時 0 0 分	1 m
#淡路島南部	# 1 1 日 1 6 時 5 0 分	# 1 m
和歌山県	1 1 日 1 6 時 1 0 分	1 m
徳島県	1 1 日 1 6 時 4 0 分	1 m
#愛媛県宇和海沿岸	# 1 1 日 1 7 時 1 0 分	# 1 m

(1/2) つづく

三

(2 通目)

ツヨク 11 材物

31 04 00 110311151200 C11 9999

高知県	1 1 日 1 6 時 3 0 分	1 m
#大分県瀬戸内海沿岸	# 1 1 日 1 7 時 5 0 分	# 1 m
#大分県豊後水道沿岸	# 1 1 日 1 7 時 1 0 分	# 1 m
宮崎県	1 1 日 1 7 時 0 0 分	1 m
#鹿児島県東部	# 1 1 日 1 7 時 1 0 分	# 1 m
種子島・屋久島地方	1 1 日 1 7 時 1 0 分	1 m
奄美諸島・トカラ列島	1 1 日 1 7 時 1 0 分	1 m
#鹿児島県西部	# 1 1 日 1 7 時 2 0 分	# 1 m
#沖縄本島地方	# 1 1 日 1 7 時 4 0 分	# 1 m
#大東島地方	# 1 1 日 1 7 時 1 0 分	# 1 m
#宮古島・八重山地方	# 1 1 日 1 8 時 1 0 分	# 1 m

警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所によっては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる場合があります。

到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかる場合がありますので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる可能性があります。

これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。

詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。

[予想される津波の高さの解説]

予想される津波が高いほど、より甚大な被害が生じます。

10m超 巨大な津波が襲い壊滅的な被害が生じる。木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。

10m 巨大な津波が襲い甚大な被害が生じる。木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。

5m 津波が襲い甚大な被害が生じる。木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。

3m 標高の低いところでは津波が襲い被害が生じる。木造家屋で浸水被害が発生し、人は津波による流れに巻き込まれる。

1m 海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

[震源、規模]

きょう11日14時46分頃地震がありました。

震源地は、三陸沖（北緯38.0度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は8.9と推定されます。

(2/2)

三

#### 4. 各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報 (aa : ~~1032~~)

##### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1s1s1 Cnf Ee y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd  
hhh mm {T TA ...} {T FN ...} Af1n1n2n3n4n5n6n7n8n9 9999
```

注)

- ・ {} はコードには含まれない。
- ・ {T TA ...} {T FN ...} の部分は以下で説明する。  
取り消し時は、[aa ~ Ee y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 9999]となる。

##### ■ 各コードの説明

##### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

##### ② Ee y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>                      最初の満潮時刻の判別

E:最初に発表する各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報であるか否かを示す部分であることを識別子

e:最初に発表する各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報であるか否かを示す

0:最初に発表する情報である

1:以前発表した情報の変更・取り消しである

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>:満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報の発表時刻

通常 (nn=00 または 01) の場合、e が 0 の時は“//////////”とし、e が 1 の場合は過去最新の各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報の電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示す。取り消し時は、取り消すべき電文の発表時刻を示す。

過去最新電文での①基本コード部中の発信時刻「y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub>」と、ここでの「y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>」が一致する。

##### ③ yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm                      震源要素

yymmddhhmm : 発現時刻 (年月日時分)

kkk : 震央地名コード番号

xxx : 地点のコード番号 (別表 5) を示す

yy : 16 方位

zzz : 距離

ndddd : 震央の緯度 (単位 : 0.1 度、北緯は n=0、南緯は n=1)



波の津波到達予想時刻・満潮時刻に変更があるかどうかを示す。

y<sub>1</sub>は第1波の津波到達予想時刻の本文の記述をどうするかを制御する。

0:時刻を記述する。第1波の津波到達予想時刻の欄に#をつけない。

1:時刻を記述する。#をつける。

2:「既に津波到達中と推測」と記述する。#をつけない。

3:「既に津波到達中と推測」と記述する。#をつける。

4:「第1波の津波到達を確認」と記述する。#をつけない。

5:「第1波の津波到達を確認」と記述する。#をつける。

y<sub>2</sub>は①第1波の津波到達予想時刻に更新があるかどうか、②漢字かな文の満潮時刻の欄に#をつけるかどうか、③漢字かな文の地点名の左に#をつけるかどうか、を示す。

0:下記以外、#はつけない。

1:第1波の津波到達予想時刻の更新はない(時刻が//////////の場合を含む)が、満潮時刻の更新がある。満潮時刻の欄に#をつける。

2:第1波の津波到達予想時刻を早い方に更新する地点(前回発表した情報で時刻を//////////とし今回具体的数値を示す場合を含む)であることを示す。満潮時刻の更新はない。満潮時刻の欄に#をつけない。

3:第1波の津波到達予想時刻を早い方に更新する地点(前回発表した情報で時刻を//////////とし今回具体的数値を示す場合を含む)であることを示す。満潮時刻の更新がある。満潮時刻の欄に#をつける。

4:第1波の津波到達予想時刻を遅い方に更新する地点であることを示す。満潮時刻の更新はない。満潮時刻欄に#をつけない。

5:第1波の津波到達予想時刻を遅い方に更新する地点であることを示す。満潮時刻の更新がある。満潮時刻の欄に#をつける。

6:警報・注意報の切り替えに伴い今回新たに発表する地点であることを示す。地点名に#をつける。満潮時刻欄には満潮時刻の値が//////////でない場合に#をつける。

yymmeeiinn:各地点の満潮時刻(年月日時分)

(ただし、時刻を示さない場合は//////////とする。)

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>:各地点の第1波の津波到達予想時刻(年月日時分)

(ただし、時刻を示さない場合は//////////とする。)

## ⑤ {T FN rrr ff rrr ff ...}

## 現在の津波警報・注意報の発表状況

注) {}はコードには含まれない。

このコードは、津波警報・注意報の{T FN}と同一構成であり、過去最新の「津波警報・注意報」の内容と一致する。

T FN:現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。

rrr:予報区番号を示す

ff:発表された津波警報・注意報の種類を示す。

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

62:津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況{T FN …}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類(ff)の内容により判別を行い、動的表現(総和表現)とする

例)

・津波警報・注意報の発表、切り替え、または一部解除後に発表する津波情報にて、津波警報・注意報の種類(ff)に51、52、62がある場合「大津波警報・津波警報・津波注意報」となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、

「[現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸]」

「[現在大津波警報・津波警報を発表している沿岸]」

「[現在大津波警報・津波注意報を発表している沿岸]」

「[現在大津波警報を発表している沿岸]」

「[現在津波警報・津波注意報を発表している沿岸]」

「[現在津波警報を発表している沿岸]」

「[現在津波注意報を発表している沿岸]」

のいずれかとなる

## ⑥ Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>

## 付加文

付加文を意味する。非定型付加文の取扱は従来と同様。

A: 付加文を示す識別子

f: 付加文の有無を示す。

0: 付加文は1つもない

1: 付加文が1つ以上ある

n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>: この電文では使用しない。常に000。

n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>: 津波警報・注意報に関する付加文(発表状況に関する部分を除く)を示す。それぞれ以下の番号のいずれかが入る。これらは順不同である。同じ番号の付加文が複数付くことはない。付加文の入る位置は、予報文・各情報文毎に文例にて指定する。本電文では、1、4、5、6、7、8は使用しない。

0: 付加文なし

1: ~~「なお、~~場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる~~」~~(改行)  
可能性(改行)  
があります。」

2: 「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要(改行)  
です。」

3: 「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますのでより十分な注意が必要(改行)  
です。」

4: 「場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達し(改行)  
ているおそれがあります。ことが考えられます」

5: 「今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます。」

6: 「警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安(改行)  
全な場所へ避難してください。(改行)

到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所に（改行）  
よっては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる可能性があります。（改行）  
到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかることがあります（改行）  
すので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な（改行）  
場所から離れないでください。」

7:「津波による潮位変化が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上（改行）  
かかることがあります。」

8:「沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります。」

n<sub>8</sub>:津波警報・注意報の発表状況に関する付加文を示す。

この情報では、2、3、4、5、6は使用しない。

0:付加文なし

1:「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配（改行）  
はありません。」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

2:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」（改行）

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれません。」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

3:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」（改行）

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

4:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」（改行）

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われま

す。」（改行）  
「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

5:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」（改行）

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われま

すので、海水浴や磯釣り等（改行）  
を行う際は注意して下ください。」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

6:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」（改行）

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われま

すので、磯釣り等を行う際は（改行）  
は注意してください。」（改行）  
「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

n<sub>9</sub>:予備

## ⑦ 9999

## コード部の終了

9999:コード部の終了を示す。

■ 各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報の例

(1 通目)

ツマジヨホ村 11 材カ

32 04 00 110311145046 C41 E0 ////////////// 1103111446 288 202 05 130  
 0380 01429 010 8/ T TA R210 52 20 1103111450 P21001 00 1103111943  
 1103111520 P21002 00 1103111946 1103111510 P21003 00 1103111947  
 1103111510 P21020 00 1103111936 1103111540 R220 52 00 1103111500  
 P22002 00 1103111954 1103111510 P22021 00 1103111955 1103111540 R250  
 52 00 1103111510 P25002 00 1103112009 1103111530 P25030 00  
 1103112001 1103111540 R101 51 00 1103111530 P10101 00 1103111931  
 1103111540 P10102 00 1103111924 1103111550 P10103 00 1103111936  
 1103111540 R201 51 00 1103111530 P20101 00 1103111930 1103111550  
 P20102 00 1103111925 1103111550 P20120 00 1103111934 1103111540 R300  
 51 00 1103111530 P30001 00 1103112014 1103111530 P30020 00  
 1103112012 1103111530 R310 51 00 1103111520 P31001 00 1103112023  
 1103111530 R320 51 00 1103111520 P32001 00 1103112057 1103111530  
 P32002 00 1103112118 1103111530 P32003 00 1103112138 1103111540  
 P32004 00 1103112136 1103111540 P32005 00 1103112116 1103111530  
 P32006 00 1103112122 1103111540 R100 62 00 1103111530 P10001 00  
 1103111927 1103111540 P10002 00 1103111928 1103111550 P10020 00  
 1103111908 1103111610 P10021 00 1103111923 1103111550 R102 62 00  
 1103111540 P10202 00 1103111927 1103111610 P10203 00 1103111930  
 1103111600 P10204 00 1103111958 1103111620 P10221 00 1103111934  
 1103111600 P10222 00 1103111925 1103111600 P10223 00 1103111852  
 1103111620 P10224 00 1103111843 1103111610 R200 62 00 1103111610  
 P20001 00 1103111733 1103111640 P20002 00 1103111939 1103111620 R311  
 62 00 1103111520 P31101 00 1103112044 1103111530 R321 62 00  
 1103111600 P32101 00 1103112208 1103111610 R330 62 00 1103111530  
 P33000 00 1103112051 1103111530 P33030 00 1103112100 1103111530 R380  
 62 00 1103111530 P38001 00 1103112136 1103111600 P38002 00  
 1103112137 1103111550 P38004 00 1103112140 1103111550 P38005 00  
 1103112141 1103111600 P38006 00 1103112204 1103111610 P38020 00  
 1103112130 1103111540 P38030 00 1103112103 1103111530 P38031 00  
 1103112135 1103111550 P38032 00 1103112133 1103111550 R390 62 00  
 1103111610 P39001 00 1103112157 1103111620 R400 62 00 1103111600  
 P40001 00 1103112200 1103111630 P40002 00 1103112153 1103111620  
 P40003 00 1103112151 1103111610 R530 62 00 1103111610 P53001 00  
 1103112156 1103111610 P53002 00 1103112203 1103111620 P53004 00  
 1103112236 1103111720 P53006 00 1103112201 1103111630 P53007 00  
 1103112157 1103111620 R580 62 00 1103111640 P58001 00 1103112219  
 1103111710 P58002 00 1103112158 1103111640 R610 62 00 1103111630  
 P61001 00 1103112205 1103111630 P61002 00 1103112209 1103111700  
 P61003 00 1103112211 1103111650 P61020 00 1103112207 1103111650 R760  
 62 00 1103111700 P76001 00 1103112219 1103111710 P76002 00  
 1103112216 1103111700 P76020 00 1103112219 1103111710 R771 62 00  
 1103111710 P77102 00 1103112252 1103111730 P77103 00 1103112222  
 1103111710 R772 62 00 1103111710 P77203 00 1103112259 1103111710  
 P77204 00 1103112243 1103111720 P77205 00 1103112301 1103111730 T FN  
 210 52 220 52 250 52 101 51 201 51 300 51 310 51 320 51 100 62 102  
 62 200 62 311 62 321 62 330 62 380 62 390 62 400 62 530 62 580 62  
 610 62 760 62 771 62 772 62 A1000200010 9999

津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）  
 平成23年 3月11日 14時50分 気象庁発表

〔各地の満潮時刻・津波到達予想時刻〕  
 津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要  
 です。

各地の満潮時刻・津波到達予想時刻は次のとおりです。

予報区名・地点名	満潮時刻	第1波の到達予想時刻
(1/4) つづく		

三

(2 通目)

ワシヨウク11 材物

32 04 00 110311145046 C31 9999

<大津波警報>

岩手県 (津波到達が最も早い場所)	津波到達中と推測
宮古	1 1 日 1 9 時 4 3 分頃 1 1 日 1 5 時 2 0 分
大船渡	1 1 日 1 9 時 4 6 分頃 1 1 日 1 5 時 1 0 分
釜石	1 1 日 1 9 時 4 7 分頃 1 1 日 1 5 時 1 0 分
久慈港	1 1 日 1 9 時 3 6 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分
宮城県 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 0 0 分
石巻市鮎川	1 1 日 1 9 時 5 4 分頃 1 1 日 1 5 時 1 0 分
仙台港	1 1 日 1 9 時 5 5 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分
福島県 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 1 0 分
いわき市小名浜	1 1 日 2 0 時 0 9 分頃 1 1 日 1 5 時 3 0 分
相馬	1 1 日 2 0 時 0 1 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分

<津波警報>

北海道太平洋沿岸中部 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 3 0 分
浦河	1 1 日 1 9 時 3 1 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分
十勝港	1 1 日 1 9 時 2 4 分頃 1 1 日 1 5 時 5 0 分
えりも町庶野	1 1 日 1 9 時 3 6 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分
青森県太平洋沿岸 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 3 0 分
八戸	1 1 日 1 9 時 3 0 分頃 1 1 日 1 5 時 5 0 分
むつ市関根浜	1 1 日 1 9 時 2 5 分頃 1 1 日 1 5 時 5 0 分
むつ小川原港	1 1 日 1 9 時 3 4 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分
茨城県 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 3 0 分
大洗	1 1 日 2 0 時 1 4 分頃 1 1 日 1 5 時 3 0 分
神栖市鹿島港	1 1 日 2 0 時 1 2 分頃 1 1 日 1 5 時 3 0 分
千葉県九十九里・外房 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 2 0 分
銚子	1 1 日 2 0 時 2 3 分頃 1 1 日 1 5 時 3 0 分
伊豆諸島 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 2 0 分
伊豆大島岡田	1 1 日 2 0 時 5 7 分頃 1 1 日 1 5 時 3 0 分
三宅島坪田	1 1 日 2 1 時 1 8 分頃 1 1 日 1 5 時 3 0 分
八丈島八重根	1 1 日 2 1 時 3 8 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分
神津島神津島港	1 1 日 2 1 時 3 6 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分
三宅島阿古	1 1 日 2 1 時 1 6 分頃 1 1 日 1 5 時 3 0 分
八丈島神湊	1 1 日 2 1 時 2 2 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分

<津波注意報>

北海道太平洋沿岸東部 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 3 0 分
釧路	1 1 日 1 9 時 2 7 分頃 1 1 日 1 5 時 4 0 分
根室市花咲	1 1 日 1 9 時 2 8 分頃 1 1 日 1 5 時 5 0 分
根室港	1 1 日 1 9 時 0 8 分頃 1 1 日 1 6 時 1 0 分
浜中町霧多布港	1 1 日 1 9 時 2 3 分頃 1 1 日 1 5 時 5 0 分
北海道太平洋沿岸西部 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 4 0 分
函館	1 1 日 1 9 時 2 7 分頃 1 1 日 1 6 時 1 0 分
苫小牧西港	1 1 日 1 9 時 3 0 分頃 1 1 日 1 6 時 0 0 分
福島町吉岡	1 1 日 1 9 時 5 8 分頃 1 1 日 1 6 時 2 0 分
苫小牧東港	1 1 日 1 9 時 3 4 分頃 1 1 日 1 6 時 0 0 分
白老港	1 1 日 1 9 時 2 5 分頃 1 1 日 1 6 時 0 0 分
渡島森港	1 1 日 1 8 時 5 2 分頃 1 1 日 1 6 時 2 0 分
室蘭港	1 1 日 1 8 時 4 3 分頃 1 1 日 1 6 時 1 0 分
青森県日本海沿岸 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 6 時 1 0 分
深浦	1 1 日 1 7 時 3 3 分頃 1 1 日 1 6 時 4 0 分
竜飛	1 1 日 1 9 時 3 9 分頃 1 1 日 1 6 時 2 0 分
千葉県内房 (津波到達が最も早い場所)	1 1 日 1 5 時 2 0 分

(2 / 4) つづく

三

(3 通目)

ツシヨの村 11 材料

32 04 00 110311145046 C21 9999

館山市布良	1 1 日 2 0 時 4 4 分頃	1 1 日 1 5 時 3 0 分
小笠原諸島 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 6 時 0 0 分
父島二見	1 1 日 2 2 時 0 8 分頃	1 1 日 1 6 時 1 0 分
相模湾・三浦半島 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 5 時 3 0 分
小田原	1 1 日 2 0 時 5 1 分頃	1 1 日 1 5 時 3 0 分
三浦市油壺	1 1 日 2 1 時 0 0 分頃	1 1 日 1 5 時 3 0 分
静岡県 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 5 時 3 0 分
沼津市内浦	1 1 日 2 1 時 3 6 分頃	1 1 日 1 6 時 0 0 分
清水	1 1 日 2 1 時 3 7 分頃	1 1 日 1 5 時 5 0 分
南伊豆町石廊崎	1 1 日 2 1 時 4 0 分頃	1 1 日 1 5 時 5 0 分
御前崎	1 1 日 2 1 時 4 1 分頃	1 1 日 1 6 時 0 0 分
舞阪	1 1 日 2 2 時 0 4 分頃	1 1 日 1 6 時 1 0 分
下田港	1 1 日 2 1 時 3 0 分頃	1 1 日 1 5 時 4 0 分
伊東	1 1 日 2 1 時 0 3 分頃	1 1 日 1 5 時 3 0 分
西伊豆町田子	1 1 日 2 1 時 3 5 分頃	1 1 日 1 5 時 5 0 分
焼津	1 1 日 2 1 時 3 3 分頃	1 1 日 1 5 時 5 0 分
愛知県外海 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 6 時 1 0 分
田原市赤羽根	1 1 日 2 1 時 5 7 分頃	1 1 日 1 6 時 2 0 分
三重県南部 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 6 時 0 0 分
鳥羽	1 1 日 2 2 時 0 0 分頃	1 1 日 1 6 時 3 0 分
尾鷲	1 1 日 2 1 時 5 3 分頃	1 1 日 1 6 時 2 0 分
熊野市遊木	1 1 日 2 1 時 5 1 分頃	1 1 日 1 6 時 1 0 分
和歌山県 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 6 時 1 0 分
那智勝浦町浦神	1 1 日 2 1 時 5 6 分頃	1 1 日 1 6 時 1 0 分
串本町袋港	1 1 日 2 2 時 0 3 分頃	1 1 日 1 6 時 2 0 分
和歌山	1 1 日 2 2 時 3 6 分頃	1 1 日 1 7 時 2 0 分
御坊市祓井戸	1 1 日 2 2 時 0 1 分頃	1 1 日 1 6 時 3 0 分
白浜町堅田	1 1 日 2 1 時 5 7 分頃	1 1 日 1 6 時 2 0 分
徳島県 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 6 時 4 0 分
小松島	1 1 日 2 2 時 1 9 分頃	1 1 日 1 7 時 1 0 分
徳島由岐	1 1 日 2 1 時 5 8 分頃	1 1 日 1 6 時 4 0 分
高知県 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 6 時 3 0 分
室戸市室戸岬	1 1 日 2 2 時 0 5 分頃	1 1 日 1 6 時 3 0 分
高知	1 1 日 2 2 時 0 9 分頃	1 1 日 1 7 時 0 0 分
土佐清水	1 1 日 2 2 時 1 1 分頃	1 1 日 1 6 時 5 0 分
須崎港	1 1 日 2 2 時 0 7 分頃	1 1 日 1 6 時 5 0 分
宮崎県 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 7 時 0 0 分
日向市細島	1 1 日 2 2 時 1 9 分頃	1 1 日 1 7 時 1 0 分
日南市油津	1 1 日 2 2 時 1 6 分頃	1 1 日 1 7 時 0 0 分
宮崎港	1 1 日 2 2 時 1 9 分頃	1 1 日 1 7 時 1 0 分
種子島・屋久島地方 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 7 時 1 0 分
種子島西之表	1 1 日 2 2 時 5 2 分頃	1 1 日 1 7 時 3 0 分
種子島熊野	1 1 日 2 2 時 2 2 分頃	1 1 日 1 7 時 1 0 分
奄美諸島・トカラ列島 (津波到達が最も早い場所)		1 1 日 1 7 時 1 0 分
中之島	1 1 日 2 2 時 5 9 分頃	1 1 日 1 7 時 1 0 分
奄美市小湊	1 1 日 2 2 時 4 3 分頃	1 1 日 1 7 時 2 0 分
奄美市名瀬	1 1 日 2 3 時 0 1 分頃	1 1 日 1 7 時 3 0 分

[現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸]

<大津波警報>

岩手県、宮城県、福島県

<津波警報>

北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、茨城県、

(3/4) つづく

三

(4 通目)

ツシジヨウチ 11 材料

32 04 00 110311145046 C11 9999

千葉県九十九里・外房、伊豆諸島

<津波注意報>

北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸西部、青森県日本海沿岸、  
千葉県内房、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、静岡県、愛知県外海、  
三重県南部、和歌山県、徳島県、高知県、宮崎県、種子島・屋久島地方、  
奄美諸島・トカラ列島

これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配  
はありません。

詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。

〔震源、規模〕

きょう 11 日 14 時 46 分頃地震がありました。

震源地は、三陸沖（北緯 38.0 度、東経 142.9 度、牡鹿半島の東南東  
130 km 付近）で、震源の深さは約 10 km、地震の規模（マグニチュー  
ド）は 8 を超える巨大地震と推定されます。

(4 / 4)

三

三

## 5. 津波観測に関する情報 (aa:1133)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf Ee y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh  
mm {T OB ...} {T FN ...} Afn1n2n3n4n5n6n7n8n9 9999
```

注)

- ・ {} はコードには含まれない。
- ・ {T OB ...} {T FN ...} の部分は以下で説明する。{T FN ...} のコードは付かないことがある。
- ・ 取り消し時は、[aa ~ Ee y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 9999] となる。

### ■ 各コードの説明

#### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

#### ② Ee y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>                      最初の津波観測の判別

E : 最初に発表する津波観測に関する情報の電文であるか否かを示す部分であることの識別子

e : 最初に発表する津波観測に関する情報の電文であるか否かを示す

0 : 最初に発表する情報である

1 : 以前発表した情報の変更・取り消しである

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> : 津波観測に関する情報の発表時刻

通常 (nn=00 または 01) 時は、e が 0 の時は “//////////” とし、e が 1 の場合は過去最新の津波観測に関する情報の電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示す。取り消し時は、取り消すべき電文の発表時刻を示す。

過去最新電文での①基本コード部中の発信時刻「y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>」と、ここでの「y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>」が一致する。

#### ③ yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm                      震源要素

yymmddhhmm : 発現時刻 (年月日時分)

kkk : 震央地名コード番号

xxx : 地点のコード番号 (別表 5) を示す

yy : 16 方位

zzz : 距離

ndddd : 震央の緯度 (単位 : 0.1 度、北緯は n=0、南緯は n=1)

ndddd : 震央の経度 (単位 : 0.1 度、東経は n=0、西経は n=1)

hhh：震源の深さ（単位：km）。不明の場合は“///”。

mm：マグニチュード（単位：0.1）。不明の場合は“//”。マグニチュードが8を超える巨大地震と推定される場合は“8/”。

震源要素を示す。ただし、不明あるいは未確定の場合は全て“////////// /// /// //  
/// /// //”とする。

不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法については、2-2 地震関連電文の  
4. 項（地震情報）の項目を参照

④ {T OB yymmeeiinn Pppppp y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub> ncccc y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> cccc …}

注) {}はコードには含まれない。

T OB:各地の検潮所で観測された津波の観測値に関する部分であることを示す識別子。  
yymmeeiinn：いつ時点の観測状況であるかを示す（年月日時分）。

Pppppp：Pは地点番号であることを示す識別子。pppppは検潮所の地点番号（別紙4）。

y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>：第1波観測時刻（年月日時分）

（y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>が//////////の時は、第1波の観測値が無いことを示す。この  
時、以下の ncccc は/////とする。）

ncccc：初動の向きと高さ

nは初動の向きを示す。判別不能の時は/とする。

0:押し

1:引き

cccc は初動の高さ（cm単位）を示す。（※平成24年度改訂後以降の電文では常に  
/////とする）

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを0000と  
する。「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合（ccc/の形）が「以上」、  
/が先頭に入る場合（/cccの形）が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合はこのコードを/////とする。

（凡例）

0100:1.00m（.00まで有効）

010L:1.0m（.0まで有効）

01LL:1m

10L/:10m以上

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> これまでの最大波観測時刻（年月日時分）

（y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>が//////////の時は、現在まで最大波が観測されていない基準  
に満たないことを示す。この時以下の cccc は/////とする。）

cccc:最大波の高さ（cm単位）。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを0000とす  
る。「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合（ccc/の形）が「以上」、  
/が頭に入る場合（/cccの形）が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが基準に満たない不明の場合はこのコードを/////とする。

（凡例）

0100:1.00m（.00まで有効）

010L:1.0m (.0まで有効)  
01LL:1m  
10L/:10m以上

⑤ {T FN rrr ff rrr ff ...}

現在の津波警報・注意報の発表状況

注) {}はコードには含まれない。

このコードは、津波警報・注意報の{T FN}と同一構成であり、過去最新の「津波警報・注意報」の内容と一致する。

現在津波警報・注意報が発表されていない場合は、この部分のコードはつかない。

T FN: 現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。

rrr: 予報区番号を示す

ff: 発表された津波警報・注意報の種類を示す。

51: ~~津波~~の津波警報

52: 大~~津波~~の津波警報

62: 津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況{T FN ...}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類(ff)の内容により判別を行い、動的表現(総和表現)とする

例)

・津波警報・注意報の発表、切り替え、または一部解除後に発表する津波情報にて、津波警報・注意報の種類(ff)に51、52、62がある場合「大津波警報・津波警報・津波注意報」となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、

「[現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸]」

「[現在大津波警報・津波警報を発表している沿岸]」

「[現在大津波警報・津波注意報を発表している沿岸]」

「[現在大津波警報を発表している沿岸]」

「[現在津波警報・津波注意報を発表している沿岸]」

「[現在津波警報を発表している沿岸]」

「[現在津波注意報を発表している沿岸]」

のいずれかとなる

⑥ Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>

付加文

付加文を意味する。非定型付加文の取扱は従来と同様。

A: 付加文を示す識別子

f: 付加文の有無を示す。

0: 付加文は1つもない

1: 付加文が1つ以上ある

n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>: この電文では使用しない。常に000。

n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>: 津波警報・注意報に係る付加文(発表状況に関する部分を除く)を示す。それぞれ以下の番号のいずれかが入る。これらは順不同である。同じ番号の付加文が複数付くことはない。付加文の入る位置は、予報文・各情報文毎に文例にて指定する。本電文では、1、2、3、6、8は使用しない。

0: 付加文なし

1: 「~~なお~~、場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる(改行)  
可能性(改行)

があります。」

2: 「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要(改行)  
です。」

3: 「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますのでより十分な注意が必要(改行)  
です。」

4: 「場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達し(改行)  
ているおそれがあります。ことが考えられます」

5: 「今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます。」

6: 「警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安(改行)  
全な場所へ避難してください。(改行)

到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所に(改行)

よっては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる可能性があります。(改行)

到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかることがあります(改行)

すので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な(改行)

場所から離れないでください。」

7: 「津波による潮位変化が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上(改行)  
かかることがあります。」

8: 「沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります。」

n<sub>8</sub>: 津波予報警報・注意報の発表状況に関する付加文を示す。

0: 付加文なし

1: 「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配(改行)  
はありません。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください。」

2: 「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」(改行)

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれません。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください。」

3: 「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」(改行)

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありませ(改行)

ん。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください。」

4: 「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」(改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われます。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください。」

5: 「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」(改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、海水浴や磯釣り等(改行)

を行う際は注意してください。」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください。」

6: 「現在 大津波警報・津波警報・津波注意報を公表している沿岸はありません。」(改行)  
「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、磯釣り等を行う際は注意してください。」(改行)  
「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください。」

n<sub>9</sub>: 予備

⑦ 9999

コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。

## ■ 津波観測に関する情報の例

ツマジヨウ村 11 材物

33 04 00 110311150155 C11 E1 1103111459 1103111446 288 202 05 130  
 0380 01429 010 8/ T 0B 1103111500 P20102 1103111448 0////  
 // P21001 1103111448 // P21002 1103111446 1//  
 // P21003 1103111446 0// 1103111456 032L P22002  
 1103111446 0// T FN 210 52 220 52 250 52 101 51  
 201 51 300 51 310 51 320 51 100 62 102 62 200 62 311 62 321 62 330  
 62 380 62 390 62 400 62 530 62 580 62 610 62 760 62 771 62 772 62  
 A1000745010 9999

津波情報（津波観測に関する情報）  
 平成23年 3月11日15時01分 気象庁発表

〔各地の検潮所で観測した津波の観測値〕  
 11日15時00分現在、検潮所での観測値は次のとおりです。

むつ市関根浜

第1波到達時刻	11日14時48分	押し
これまでの最大波	観測中	

宮古

第1波到達時刻	11日14時48分	
これまでの最大波	観測中	

天船渡

第1波到達時刻	11日14時46分	引き
これまでの最大波	観測中	

釜石

第1波到達時刻	11日14時46分	押し
これまでの最大波	11日14時56分	3.2m

石巻市鮎川

第1波到達時刻	11日14時46分	押し
これまでの最大波	観測中	

津波による潮位変化が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上かかることがあります。  
 場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達しているおそれがあります。  
 今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます。

〔現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸〕

<大津波警報>

岩手県、宮城県、福島県

<津波警報>

北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、茨城県、

千葉県九十九里・外房、伊豆諸島

<津波注意報>

北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸西部、青森県日本海沿岸、

千葉県内房、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、静岡県、愛知県外海、

三重県南部、和歌山県、徳島県、高知県、宮崎県、種子島・屋久島地方、

奄美諸島・トカラ列島

これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。

詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。

〔震源、規模〕

きょう11日14時46分頃地震がありました。

震源地は、三陸沖（北緯38.0度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は8を超える巨大地震と推定されます。

三

## 6. 沖合の津波観測に関する情報 (aa:34)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf Ee y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh  
mm {T OB ...} {T FN ...} Afn1n2n3n4n5n6n7n8n9 9999
```

#### 注)

- ・ {}はコードには含まれない。
- ・ {T OB ...}の部分は以下で説明する。
- ・ 取り消し時は、[aa ~ Ee y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 9999]となる。

### ■ 各コードの説明

#### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf 基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

#### ② Ee y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 最初の沖合の津波観測の判別

E: 最初に発表する沖合の津波観測に関する情報の電文であるか否かを示す部分であることの識別子

e: 最初に発表する沖合の津波観測に関する情報の電文であるか否かを示す

0: 最初に発表する情報である

1: 以前発表した情報の変更・取り消しである

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>: 沖合の津波観測に関する情報の発表時刻

通常 (nn=00 または 01) 時は、e が 0 の時は“////////”とし、e が 1 の場合は過去最新の沖合の津波観測に関する情報の電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示す。取り消し時は、取り消すべき電文の発表時刻を示す。

過去最新電文での①基本コード部中の発信時刻「y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>」と、ここでの「y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>」が一致する。

#### ③ yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm 震源要素

yymmddhhmm: 発現時刻 (年月日時分)

kkk: 震央地名コード番号

xxx: 地点のコード番号 (別表5) を示す

yy: 16 方位

zzz: 距離

ndddd: 震央の緯度 (単位: 0.1 度、北緯は n=0、南緯は n=1)

ndddd: 震央の経度 (単位: 0.1 度、東経は n=0、西経は n=1)

hhh: 震源の深さ (単位: km)。不明の場合は“///”。



10L/:10m 以上

⑤ Af<sub>n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub></sub>

付加文

付加文を意味する。非定型付加文の取扱は従来と同様。

A：付加文を示す識別子

f：付加文の有無を示す。

0：付加文は1つもない

1：付加文が1つ以上ある

n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>：この電文では使用しない。常に000。

n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>：津波警報・注意報に関する付加文（発表状況に関する部分を除く）を示す。

それぞれ以下の番号のいずれかが入る。これらは順不同である。同じ番号の付加文が複数付くことはない。付加文の入る位置は、予報文・各情報文毎に文例にて指定する。本電文では、1、2、3、4、5、6、7は使用しない。

0：付加文なし

1：「場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる可能性があります。」

2：「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要（改行）です。」

3：「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますのでより十分な注意が必要（改行）です。」

4：「場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達し（改行）ているおそれがあります。」

5：「今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます。」

6：「警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安（改行）全な場所へ避難してください。（改行）

到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所によ（改行）っては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる可能性があります。（改行）到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかることがあります（改行）すので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な（改行）場所から離れないでください。」

7：「津波による潮位変化が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上（改行）かかることがあります。」

8：「沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります。」

n<sub>8</sub>：津波警報・注意報の発表状況に関する付加文を示す。

0：付加文なし

1：「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配（改行）はありません。」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

2：「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」（改行）

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれません。」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

3：「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」（改行）

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

4:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」(改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われれます。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

5:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」(改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われれますので、海水浴や磯釣り等(改行)を行う際は注意してください。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

6:「現在大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸はありません。」(改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われれますので、磯釣り等を行う際は注意してください。」(改行)

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください。」

□<sub>9</sub>:予備

## ⑥ 9999

## コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。

■ 沖合の津波観測に関する情報の例

沖合観測ステーション 11 材料  
(STX)

34 04 00 110311151000 G11 E1 1103111457 1103111446 288 202 05 130  
0380 01429 010 79 T 0B 1103111510 P21090 1103111450 1//// 1103111510  
041L P21091 1103111450 1//// 1103111510 042L P25090 1103111452 0////  
////////// P21050 1103111448 0//// 1103111454 010L A1000800000  
9999

津波情報（沖合の津波観測に関する情報）  
平成23年 3月11日15時10分 気象庁発表

高い津波を沖合で観測しました。  
岩手釜石沖、岩手宮古沖、岩手沖90km

〔沖合で観測した津波の観測値〕  
11日15時10分現在、沖合の観測値は次のとおりです。  
沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります。

岩手釜石沖		
第1波観測時刻	11日14時50分	引き
これまでの最大波	11日15時10分	4.1m
岩手宮古沖		
第1波観測時刻	11日14時50分	引き
これまでの最大波	11日15時10分	4.2m
福島小名浜沖		
第1波観測時刻	11日14時52分	押し
これまでの最大波	観測中	
岩手沖90kmA		
第1波観測時刻	11日14時48分	押し
これまでの最大波	11日14時54分	1.0m

〔沖合の観測値から推定される沿岸の津波の高さ〕  
沿岸での津波到達時刻および津波の高さは以下のとおりと推定されます。  
早いところでは、既に津波が到達していると推定されます。

岩手県	
第1波の推定到達時刻	11日14時55分
これまでの最大波の推定到達時刻	11日15時15分
推定される津波の高さ	1.0m
福島県	
第1波の推定到達時刻	11日14時57分
これまでの最大波の推定到達時刻	推定中
推定される津波の高さ	推定中

〔震源、規模〕  
きょう11日14時46分頃地震がありました。  
震源地は、三陸沖（北緯38.0度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は7.9と推定されます。

三

## 6.7. 津波に関するその他の情報 (aa:1213)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn yiyimimididihihimimisisi Cnf 9999
```

### ■ 各コードの説明

① aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

② 9999    コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。

■ 津波に関するその他の情報の例（津波予報の例）

ツナミ 30411 材料

13 04 00 110311145000 C11 9999

津波情報（津波に関するその他の情報）

平成23年03月11日14時49分 気象庁発表

津波予報（若干の海面変動）をお知らせします。

なお現在、大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸があります。

\*\*\*\*\* 本文 \*\*\*\*\*  
若干の海面変動が予想される沿岸は次のとおりです。

<津波予報（若干の海面変動）>

北海道日本海沿岸南部、陸奥湾、東京湾内湾、伊勢・三河湾、大阪府、  
兵庫県瀬戸内海沿岸、淡路島南部、岡山県、香川県、愛媛県宇和海沿岸、  
有明・八代海、長崎県西方、熊本県天草灘沿岸、大分県瀬戸内海沿岸、  
大分県豊後水道沿岸、鹿児島県東部、鹿児島県西部、沖縄本島地方、  
大東島地方、宮古島・八重山地方

\*\*\*\*\* 大津波警報・津波警報・津波注意報の発表状況 \*\*\*\*\*  
現在、大津波警報・津波警報・津波注意報を発表している沿岸は次のとおり  
です。

<大津波警報>

岩手県、宮城県、福島県

<津波警報>

北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、茨城県、  
千葉県九十九里・外房、伊豆諸島

<津波注意報>

北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸西部、青森県日本海沿岸、  
千葉県内房、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、静岡県、愛知県外海、  
三重県南部、和歌山県、徳島県、高知県、宮崎県、種子島・屋久島地方、  
奄美諸島・トカラ列島

\*\*\*\*\* 震源要素の速報 \*\*\*\*\*  
[震源、規模]

きょう11日14時46分頃地震がありました。

震源地は、三陸沖（北緯38.0度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東  
130km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュー  
ド）は8を超える巨大地震と推定されます。

\*\*\*\*\* 解説 \*\*\*\*\*

<大津波警報>

大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。

沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難し  
てください。  
津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れな  
いください。

<津波警報>

津波による被害が発生します。

沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難し  
てください。  
津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで安全な場所から離れな  
いください。

<津波注意報>

海の中や海岸付近は危険です。

海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。  
潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり  
海岸に近づいたりしないでください。

<津波予報（若干の海面変動）>

若干の海面変動が予想されますが、被害の心配はありません。

（補足：平成19年12月1日から、従来の津波注意報（津波注意・津波な  
し）を、「津波注意報」、「津波予報（若干の海面変動）」および「津波  
予報（津波なし）」に区分しています。  
予想される若干の海面変動の内容については、「津波予報（若干の海面変動  
）」を発表してお知らせしています。）

=

## 7.8. 津波観測に関する一覧データ (aa:1614)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf Ee y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1 yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd  
hhh mm {TFO ...} Af1n1n2n3n4n5n6n7n8n9 9999
```

注)

- ・ {}はコードには含まれない。
- ・ {TFO ...}の部分については以下で説明する。
- ・ 取り消し時は、[aa ~ Ee y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub> 9999]となる。

### ■ 各コードの説明

#### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

#### ② Ee y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>                      最初の津波到達状況の判別

E:最初に発表する津波観測に関する一覧データの電文であるか否かを示す部分である  
ことの識別子

e:最初に発表する津波観測に関する一覧データの電文であるか否かを示す

0:最初に発表する情報である

1:以前発表した情報の変更・取り消しである

y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>:津波観測に関する一覧データの発表時刻

通常 (nn=00 または 01) 時は、e が 0 の時は “//////////” とし、e が 1 の場合は過去最新の津波観測に関する一覧データの電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示す。取り消し時は、取り消すべき電文の発表時刻を示す。

過去最新電文での①基本コード部中の発信時刻「y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>」と、ここでの「y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>」が一致する。

#### ③ yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm                      震源要素

yymmddhhmm:発現時刻 (年月日時分)

kkk:震央地名コード番号

xxx:地点のコード番号 (別表5) を示す

yy:16 方位

zzz:距離

ndddd:震央の緯度 (単位:0.1 度、北緯は n=0、南緯は n=1)

ndddd:震央の経度 (単位:0.1 度、東経は n=0、西経は n=1)

hhh:震源の深さ (単位:km)。不明の場合は “///”。



0:押し

1:引き

$c_2c_2c_2c_2$ は初動の高さ（cm単位）を示す。（※平成24年度改訂後以降の電文では常に////とする）

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを0000とする。

「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合（ccc/の形）が「以上」、/が先頭に入る場合（/cccの形）が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合はこのコードを////とする。

（凡例）

0100:1.00m（.00まで有効）

010L:1.0m（.0まで有効）

01LL:1m

10L/:10m以上

$y_3y_3m_3m_3d_3d_3h_3h_3m_3m_3$ : これまでの最大波観測時刻（年月日時分）

（ $y_3y_3m_3m_3d_3d_3h_3h_3m_3m_3$ が//////////の時は、現在まで最大波が基準に満たない観測されていないことを示す。この時以下の $c_3c_3c_3c_3$ は////とする。）

$c_3c_3c_3c_3$ :最大波の高さ（cm単位）。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを0000とする。「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合（ccc/の形）が「以上」、/が先頭に入る場合（/cccの形）が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが基準に満たない不明の場合はこのコードを////とする。

（凡例）

0100:1.00m（.00まで有効）

010L:1.0m（.0まで有効）

01LL:1m

10L/:10m以上

$f_1, f_2$ : 予報区（ $f_1$ ）、地点（ $f_2$ ）での津波の観測状況を示す。

0: 第1波の津波到達を確認

1: すでに津波到達中と推測

2: 津波は到達していない

3: 不明

4: 検潮データ障害中（ $f_2$ でのみ使用する）

5: 検潮所がない（ $f_2$ でのみ使用する）

## ⑤Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>

## 付加文

付加文を意味する。非定型付加文の取扱は従来と同様。

A: 付加文を示す識別子

f: 付加文の有無を示す。

0: 付加文は1つもない

1:付加文が1つ以上ある  
 $n_1n_2n_3n_4n_5n_6n_7n_8n_9$ :この電文では使用しない。常に000000000。

⑥9999

コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。

## 2-2 地震関連電文

### ■ 目次

1. 「付加文」のコード	・・・地震-1
2. 緊急地震速報	・・・地震-3
3. 震度速報	・・・地震-29
4. 地震情報	・・・地震-31
① 震源に関する情報	地震-31
② 震源・震度に関する情報	地震-33
③ その他の情報	地震- <u>3738</u>
5. 各地の震度に関する情報	・・・地震- <u>4445</u>
別表1 震央地名コード	・・・地震- <u>4748</u>
別表1の2 震央地名コード(その2)	地震- <u>5253</u>
別表2 地域名称コード	・・・地震- <u>5354</u>
別表3 緊急地震速報(警報)で用いる震央地名と地震情報 (緊急地震速報を含む)で用いる震央地名の関係	・・・地震- <u>5657</u>
別表4 緊急地震速報(警報)で用いる地域名称	・・・地震- <u>6566</u>

### ■ 変更履歴

平成17年11月22日	全面改訂
平成18年10月2日	別表1(震央地名コード)、別表2(地域名称コード)変更 「電文例」、「翻訳例」の内容を修正(市町村合併等を反映)
平成18年10月16日	緊急地震速報追記、別表1の2を追加
平成19年3月1日	4-③その他の情報に追記
平成19年12月1日	気象業務法の一部改正に対応(「津波予報」→「津波警報・注意報」、一般向けの緊急地震速報(警報)を追記) 別表3、別表4を追加
平成20年8月1日	「電文例」を差替え、廃止予定電文の説明を記述
平成20年12月1日	緊急地震速報の電文例の適正化
平成21年4月1日	津波に関する付加文の変更、発表官署名の変更 廃止された電文の説明を削除 「地震の活動状況等に関する情報」の例文を追加
平成22年3月31日	震度速報及び地震回数情報の電文例を適正化 北海道支庁再編に伴い別表1~4を修正
平成23年3月24日	定例の「東海地震に関連する調査情報」の例文追加
平成23年3月31日	「伊豆東部の地震活動に関する情報」の例文追加
平成23年5月12日	区域と名称の変更(山口県、鹿児島県)に伴い別表1~4を修正

平成 24 年 3 月 31 日

緊急地震速報の用語の修正（「一般向け」、「高度利用者向け」の用語の削除）

「震源・震度に関する情報」の発表基準を修正

「緊急地震速報（予報）」の内容を修正（地震識別番号、非常に強い揺れを検知した場合の予報）

## 1. 「付加文」のコード

この付加文コード「Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>」は地震情報、各地の震度に関する情報に付加する。なお、火山情報、津波情報の付加文はここで説明するものとは異なるので、それぞれの箇所

「Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>」

A : A は以下に付加文を報ずることを示す識別符号。

f : 何らかの付加文の有無を示す。0=付加文全くなし、1=何らかの付加文あり

以下にn<sub>1</sub>～n<sub>5</sub>各要素の付加文を説明する。付加文を付ける場合「」内の日本語文とする。

n<sub>1</sub> : 津波の有無に関連した付加文。

0= 付加文なし。

7= 「この地震による津波の心配はありません。」

8= 「日本への津波の有無については現在調査中です。」

9= 「この地震による日本への津波の影響はありません。」

(注) 8番及び9番は遠地地震の情報のみ用いる。ただし遠地地震でも、現地・日本、双方で津波の心配が無い場合は7番を使用する。

n<sub>2</sub> : 震度修正の付加文。

0= 付加文なし。

1= 「震度を訂正する。」

(注) 1を使用する場合のほとんどは震度データが追加され続報を発表した時である。

n<sub>3</sub> : 震源要素訂正の付加文。

0= 付加文なし。

1= 「震源要素を訂正する。」

n<sub>4</sub> : 津波までには至らないが若干の海面変動の有無に関する付加文。

0= 海面変動なし：付加文は付けない。

1= 「この地震により、日本の沿岸では若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。」

n<sub>5</sub> : 日本国内で津波警報・注意報が発表中であるか否かを示す付加文（地域の特定はしない）。

0= 津波警報・注意報を発表していない：付加文は付けない。

1= 「津波警報等（大津波警報・津波警報あるいは津波注意報）を発表中です。」

(注1) 付加文が全くない場合も上記電文には必ず「Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>」が付く。

(注2) このコードのn<sub>1</sub>、n<sub>2</sub>、n<sub>3</sub>、n<sub>4</sub>、n<sub>5</sub>で示すことのできない非定型の付加文がある場合は、本文に続けてその内容を示す。

ただし、コード部のみの付加文は、コードの



### 3. 震度速報

震度3以上の地震が発生した時、その揺れの強さ（震度）を地域名で地震発生後速やかに発表する。迅速化が必要なため自動処理を採用している。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf yymmddhhmm BI See fff … See fff … 9999」

aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf : 共通の基本部参照。

yymmddhhmm : 発現時（年月日時分）。

BI : 地域震度を報ずることを示す識別符号。

See (Se) : 震度を示す。階級の大きな順番で示す。S は震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

fff : 地域番号（別表2のコード表を参照）

9999 : コード行の終わりを示す。

取り消し報の場合は「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf」のみでnnは10となる。

#### 電文例

シドツク3 材カ

```
53 04 00 091004222520 C11 0910042223 BI S6- 161 S5+ 160 166 167 S5-  
140 141 152 155 156 157 165 S4 105 126 140 141 146 S3 101 110 116  
119 121 125 142 9999=
```

#### コード翻訳情報

#### 翻訳例

##### 震度速報

平成21年10月 4日22時25分 気象庁発表

4日22時23分頃、地震による強い揺れを感じました。

現在、震度3以上が観測されている地域は次のとおりです。

震度6弱 釧路地方中南部

震度5強 釧路地方北部 根室地方中部 根室地方南部

震度5弱 網走地方 北見地方 日高地方東部 十勝地方北部  
十勝地方中部 十勝地方南部 根室地方北部

震度4 渡島地方北部 上川地方中部 胆振地方中東部

震度3 石狩地方中部 檜山地方 後志地方東部 北海道奥尻島  
空知地方中部 上川地方北部 紋別地方

今後の情報に注意して下さい。＝

(注) 震度速報は、コード部のみから構成されており、コードを「漢字かな」に変換する処理が必要である。

取り消し報は次の形式とする。

電文例

シド'ウ村3 材カ

53 04 10 090712222100 C11 9999＝

本電文を受信した場合には、取り消し報を発信した直前の震度速報を取り消すこと。

#### 4. 地震情報

地震情報は、震度3以上の地震発生時に震度速報の後にその内容を更に詳しく報ずる「震源に関する情報」、「震源・震度に関する情報」や、必要な情報を自由文で発表する「その他の情報」（一例として大地震後の余震活動や群発地震の状況を地震回数の情報）がある。

なお、「震源・震度に関する情報」は、震度2以下であっても津波警報・注意報を発表したような地震や、津波による被害の心配はないが若干の海面変動が予想される地震、緊急地震速報（警報）を発表した地震、外国で発生したM7.0以上または都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で発生した規模の大きな地震についても発表している。

##### ① 震源に関する情報

震度3以上の地震発生時（震度速報発表時）で、津波警報・注意報を発表しない時に、地震の震源要素に「この地震による津波の心配はありません。」あるいは「この地震により、日本の沿岸では若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。」の付加文を付けて発表する。

「aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>m<sub>1</sub>m<sub>2</sub>d<sub>1</sub>d<sub>2</sub>h<sub>1</sub>h<sub>2</sub>m<sub>1</sub>m<sub>2</sub>s<sub>1</sub>s<sub>2</sub> Cnf yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd  
ndddd hhh mm EI dd Af n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」

aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>m<sub>1</sub>m<sub>2</sub>d<sub>1</sub>d<sub>2</sub>h<sub>1</sub>h<sub>2</sub>m<sub>1</sub>m<sub>2</sub>s<sub>1</sub>s<sub>2</sub> Cnf : コードの共通項目参照。

yymmddhhmm : 発現時（年月日時分）。

kkk : 震央地名コード番号。（別表1のコード表を参照）

xxx yy zzz : 「〇〇の△△◎◎◎km 付近」の表現 xxx は地点のコード番号（2-1 津波関連電文参照）、yy は16方位、zzz は距離（単位10km、一の位は四捨五入）、発表しない時は「/// // ///」。

yy の16方位は次のとおり。

01:北北東	02:北東	03:東北東	04:東	05:東南東	06:南東
07:南南東	08:南	09:南南西	10:南西	11:西南西	12:西
13:西北西	14:北西	15:北北西	16:北		

nddd ndddd : 震源の緯度、経度（単位 度 1/10まで表示）、北緯、東経の場合はn=0  
西経、南緯の場合はn=1。

hhh : 震源の深さ（単位 km）。不明の場合///、600km以上の場合999

hhh が000の場合には、「震源の深さは約0km」とは表記せず、「震源の深さは、ごく浅い」と表記する。

mm : マグニチュード。不明の場合//、マグニチュードが8を超える巨大地震と推定される場合は8/。

\*\*\*\* 不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法（全ての情報同一） \*\*\*\*

・震源が詳細不明の場合は「nddd ndddd hhh mm」は「///// ///// /// //」とし、「震源地は、〇〇〇（詳細不明）」と表記する。（注）

- ・深さだけが不明の場合は「0434 01477 /// 78」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、地震の規模（マグニチュード）は7.8と推定されます。」と表記する。
- ・マグニチュードだけが不明の場合は「0434 01477 010 //」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、震源の深さは約10kmと推定されます。」と表記する。
- ・深さ及びマグニチュードが不明の場合は、「0434 01477 /// ///」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）と推定されます。」と表記する。
- ・マグニチュードが8を超える巨大地震と推定される場合は「0434 01477 010 8/」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は8を超える巨大地震と推定されます。」と表記する。

(注) ○○○にはコードのkkkに対応する震央地名が入る。

ただし、震源の詳細不明は観測網整備に伴い、現在では運用上原則として発表しないことにしている。

EI：予備データの識別符号

dd：予備データ（//或いは数字；使用しないで下さい）

Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>：付加文の有無を表すコード。

9999：コード行の終わりを示す。

#### 電文例

シゲソクサ 11 オサカ

~~89-92~~ 04 00 080324124356 C11 0803241240 289 /// // /// 0371 01415 040

53 EI // A170000 9999

地震情報（震源に関する情報）

平成20年 3月24日12時43分 気象庁発表

きょう24日12時40分ころ地震がありました。

震源地は、福島県沖（北緯37.1度、東経141.5度）で、震源の深さは約40km、地震の規模（マグニチュード）は5.3と推定されます。

この地震による津波の心配はありません。

=

#### 電文例

シゲソクサ 11 キヨコ

89-92 03 00 080315074157 C11 0803150732 911 /// // /// 0273 01432 000  
63 EI // A100010 9999

地震情報（震源に関する情報）

平成20年 3月15日 7時41分 気象庁発表

きょう15日07時32分ころ地震がありました。

震源地は、父島近海（北緯27.3度、東経143.2度）で、震源の深さは、「ごく浅い」、地震の規模（マグニチュード）は6.3と推定されます

。

この地震により、日本の沿岸では若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。

=

② 震源・震度に関する情報

震度3以上の地震発生時、あるいはそれ以外でも津波警報・注意報発表時、若干の海面変動が予想される場合、緊急地震速報（警報）を発表した地震、外国で発生したM7.0以上または都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で発生した規模の大きな地震について発表する。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd  
ndddd hhh mm EI dd BI See fff .. See fff .. CI See fffff .. See  
ffffff .. LCI See fffff .. Af<sub>n</sub><sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」

aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf : コードの共通項目参照。

yymmddhhmm : 発現時（年月日時分）。ただし外国の地震（94=エンサイモ XX）については発現時刻（年月日時分）とする。

kkk : 震央地名コード番号。（別表1のコード表を参照）

xxx yy zzz : 「○○の△△◎◎◎km 付近」の表現 xxx は地点のコード番号（2-1 津波関連電文参照）、yy は16方位、zzz は距離（単位10km、一の位は四捨五入）、発表しない時は「/// // ///」。

yy の16方位は次のとおり。

01:北北東	02:北東	03:東北東	04:東	05:東南東	06:南東
07:南南東	08:南	09:南南西	10:南西	11:西南西	12:西
13:西北西	14:北西	15:北北西	16:北		

ndddd nddd : 震源の緯度、経度（単位 度 1/10まで表示）、北緯、東経の場合はn=0  
西経、南緯の場合はn=1。

hhh : 震源の深さ（単位 km）。不明の場合///、600km以上の場合999

hhh が 000 の場合には、「震源の深さは約0 k m」とは表記せず、「震源の深さは、ごく浅い」と表記する。

mm : マグニチュード。不明の場合//、マグニチュードが 8 を超える巨大地震と推定される場合は 8/。

\*\*\*\* 不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法（全ての情報同一） \*\*\*\*

- 震源が詳細不明の場合は「nddd ndddd hhh mm」は「//// // // //」とし、「震源地は、○○○（詳細不明）。」と表記する。（注）
- 深さだけが不明の場合は「0434 01477 // 78」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、地震の規模（マグニチュード）は7.8と推定されます。」と表記する。
- マグニチュードだけが不明の場合は「0434 01477 010 //」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、震源の深さは約10 k mと推定されます。」と表記する。
- 深さ及びマグニチュードが不明の場合は、「0434 01477 // //」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）と推定されます。」と表記する。
- マグニチュードが 8 を超える巨大地震と推定される場合は「0434 01477 010 8/」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、震源の深さは約10 k m、地震の規模（マグニチュード）は8を超える巨大地震と推定されます。」と表記する。

(注) ○○○にはコードの kkk に対応する震央地名が入る。

ただし、震源の詳細不明は観測網整備に伴い、現在では運用上原則として発表しないことにしている。

EI : 予備データの識別符号

dd : 予備データ (/或いは数字 ; 使用しないで下さい)

BI : 地域震度を報ずることを示す識別符号。

See (Se) : 震度を示す。階級の大きな順番で示す。S は震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

fff : 地域番号（別表2のコード表を参照）

CI : 市町村震度を報ずることを示す識別符号。

大きな揺れが観測された市町村名を当面次の基準で発表する。

その地震による最大震度	発表する市町村名
「震度6弱」以上	「震度5弱」以上を観測

「震度 5 強」又は「震度 5 弱」	「震度 4」以上を観測
「震度 4」又は「震度 3」	「震度 3」以上を観測

(注) なお、この市町村名の発表基準を変更した場合にも対応できるように、コード部では、識別符号 CI の後に See で震度階級を示している。

See (Se) : 震度を示す。階級の大きな順番で示す。S は震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが 5 弱、5 強、6 弱、6 強 (5-、5+、6-、6+) は 2 桁、それ以外の震度階級は 1 桁で報ずる。

fffff : 市町村番号 (5 桁)、上 3 桁が地域を表す。

LCI : LCI は未入電の市町村震度を報ずることを示す識別符号。

震度〇〇以上と考えられるが現在震度を入手していない市町村を報ずる。

該当する未入電の市町村震度がない場合は、識別符号 LCI を含め「LCI See ffffff……」は省略する。

See (Se) : S は震度階級を報ずることを示す識別符号、その後に〇〇の震度階級を報ずる。5 弱、5 強、6 弱、6 強 (5-、5+、6-、6+) は 2 桁、それ以外の震度階級は 1 桁とする。当面は下限の震度階級〇〇は 5 弱とするので、S5-となる。1 つの市町村地域に複数の観測点がある場合、その中の 1 地点でも震度 5 弱以上が観測されていればその市町村は欠測対象とはしない。しかし逆に震度 4 以下が観測されている場合には、大きな揺れが観測された市町村震度と欠測の市町村震度が同時に発表されることがある。

fffff : 市町村番号 (5 桁)、上 3 桁が地域を表す。

Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> : 付加文の有無を表すコード。

9999 : コード行の終わりを示す。

(注) ・国内で発生した地震に伴う震源・震度の情報のヘッダーは「ゼンコカイシ 11」。

・外国で発生した地震に伴う震源・震度の情報のヘッダーは「エンカイシ 1」とする。

・エンカイシ 1 のフォーマットはゼンコカイシ 11 と同一である。

・遠地地震で有感地震でない場合には震度の実況を報じる群を除いて、

「aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm EI // Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」とする。

電文例

ゼンコカイシ 11 キヨウ

84-93 03 00 070716101937 C11 0707161013 379 307 10 060 0375 01386 010

66 EI // BI S6+ 371 420 S5+ 370 S5- 372 390 S4 242 243 252 311 320  
321 330 331 375 421 S3 220 221 222 240 241 250 251 300 301 310 340  
341 342 350 351 360 361 380 381 391 411 412 422 430 431 432 440 441  
442 443 451 CI S6+ 37102 37135 42033 S6- 37103 37116 S5+ 37002  
37100 37101 37105 37138 42002 42004 42023 S5- 37253 39001 39002  
39021 42000 LCI S5- 37104 37106 37119 37137 37204 37223 A100001  
9999

地震情報（震源・震度に関する情報）

平成19年7月16日10時19分 気象庁発表

きょう16日10時13分ごろ地震がありました。

震源地は、新潟県上中越沖（北緯37.5度、東経138.6度、新潟の南西60km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は6.6と推定されます。

〔震度3以上が観測された地域〕

震度6強 新潟県中越 長野県北部

震度5強 新潟県上越

震度5弱 新潟県下越 石川県能登

震度4 山形県村山 山形県置賜 福島県会津 栃木県南部

群馬県北部 群馬県南部 埼玉県北部 埼玉県南部

新潟県佐渡 長野県中部

震度3 宮城県北部 宮城県南部 宮城県中部 山形県庄内

山形県最上 福島県中通り 福島県浜通り 茨城県北部

茨城県南部 栃木県北部 千葉県北東部 千葉県北西部

千葉県南部 東京都23区 東京都多摩東部 神奈川県東部

神奈川県西部 富山県東部 富山県西部 石川県加賀

山梨県中・西部 山梨県東部・富士五湖 長野県南部

岐阜県飛騨 岐阜県美濃東部 岐阜県美濃中西部 静岡県伊豆

静岡県東部 静岡県中部 静岡県西部 愛知県西部

〔震度5弱以上が観測された市町村〕

震度6強 柏崎市 刈羽村 飯綱町

震度6弱 小千谷市 出雲崎町

震度5強 上越市 長岡市 三条市 十日町市 南魚沼市 中野市

飯山市 信濃町

震度5弱 新潟西蒲区 輪島市 珠洲市 能登町 長野市

〔震度5弱以上と考えられるが現在震度を入手していない市町村〕

加茂市 見附市 川口町 魚沼市 燕市 弥彦村

津波警報等（[大津波警報](#)・[津波警報](#)あるいは[津波注意報](#)）を発表中です。

この地震について、緊急地震速報を発表しています。

①

※

情報第1号=

①付加文コードAfn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>のn<sub>5</sub>が「1」となっていることに対応した付加文。  
津波警報・注意報が発表中の場合に記述。

※ は付加文対応していない本文のみに入る付加文

電文例

インサイズ1 キヨウ

94 03 00 000619124000 C11 0006191215 955 /// // /// 1029 01418 030 74  
EI // A180000 9999

地震情報（震源・震度に関する情報）

平成12年 6月19日12時40分 気象庁発表

きょう19日12時15分ころ地震がありました。

震源地は、ニューギニア付近（南緯2.9度、東経141.8度）で、震源の深さは約30km、地震の規模（マグニチュード）は7.4と推定されます。

日本への津波の有無については現在調査中です。

震源の近傍で津波発生可能性があります。

情報第1号=

①  
※

①付加文コードAfn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>のn<sub>1</sub>が「8」となっていることに対応した付加文。

※ は付加文対応していない本文のみに入る付加文

電文例

インサイズ1 キヨウ

94 03 00 041226102500 C11 0412260959 953 /// // /// 1034 00957 030 80  
EI // A190000 9999

地震情報（震源・震度に関する情報）

平成16年12月26日10時25分 気象庁発表

きょう26日09時59分ころ地震がありました。

震源地は、インドネシア付近（北緯3.4度、東経95.7度）で、震源の深さは約30km、地震の規模（マグニチュード）は8.0と推定されます。

この地震による日本への津波の影響はありません。

①

詳しい震源の位置はスマトラ島北部の西方沖です。

インド洋の広域に津波発生の可能性があります。

気象庁では26日10時18分にインド洋津波監視情報を発表しています。

情報第1号=

※  
※  
※

①付加文コード  $Afn_1n_2n_3n_4n_5$  の  $n_1$  が「9」となっていることに対応した付加文。

※ は付加文対応していない本文のみに入る付加文

### ③ その他の情報

群発地震発生時の地震回数の情報や顕著な地震の震源要素更新のお知らせ、地震の活動状況等に関する情報などのほか、東海地震に関連する調査情報の定例発表時、伊豆東部の地震活動に関する情報の発表時にも用いる。情報の内容は自由文を解読する必要がある。

「aa bb nn  $y_1y_1m_1m_1d_1d_1h_1h_1m_1m_1s_1s_1$  Cnf  $y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2s_2s_2$  kkk  
Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」

aa bb nn  $y_1y_1m_1m_1d_1d_1h_1h_1m_1m_1s_1s_1$  Cnf : コードの共通項目参照。

Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> : 付加文の有無を表すコード。自由文の情報のため付加文は常に有り (f=1) となる。

$y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2s_2s_2$  : 代表する地震の識別 (発信) 時刻 [年月時分秒]

(注) その他の情報を発表する事になった、代表的な地震について報じた情報の発信時刻とする。該当する地震が無い場合は、////////// (全て「/」) または、任意の時刻とする。//////////で発表した場合、関連して発表する後続の「その他の情報」については、この電文の発信時刻を使用する。通常は、地震発生後最初に報じられる「震源・震度に関する情報」の発信時刻、該当する「震源・震度に関する情報」が無い場合は、「各地の震度に関する情報」の発信時刻とする。

kkk : 震央地名コード番号。(別表1のコード表を参照)

(注) その他の情報を発表する事になった、代表的な地震の震央地名コード番号を入力する。これにより、関係する地域の利用者にのみ、この情報を伝達する制御を行うことができる。なお、この制御を行わない場合は「///」を用いる。

9999 : コード行の終わりを示す。

### 電文例

ゼンコクサイズ1 キヨウ

87 03 00 091218051115 C11 091218021633 481 A100000 9999

地震情報（地震回数に関する情報）

平成21年12月18日05時11分 気象庁発表

伊豆半島東方沖の地震による時間別有感地震回数は次のとおりです。

12月17日

震度5弱：1回、震度4：0回、

震度3：2回、震度2：6回、震度1：33回

12月18日

00時から01時 有感回数 11回 震度3：1回 震度2：1回  
震度1：9回

01時から02時 有感回数 4回 震度2：1回 震度1：3回

02時から03時 有感回数 7回 震度3：1回 震度1：6回

03時から04時 有感回数 5回 震度3：1回 震度2：1回  
震度1：3回

04時から05時 有感回数 3回 震度2：2回 震度1：1回

なお、この付近で発生した地震については、震度3以上の場合は従来通り「震源・震度に関する情報」及び「各地の震度に関する情報」で発表しますが、震度2以下の場合は、「地震回数に関する情報」（本情報）で地震回数をまとめて発表します。

次の「地震回数に関する情報」は06時頃に発表します。情報第6号=

電文例

ゼンコカイイE1 キヨウ

87 03 00 080508105400 C11 080508014923 /// A100000 9999

地震情報（顕著な地震の震源要素更新のお知らせ）

平成20年 5月 8日10時54分 気象庁発表

平成20年 5月 8日10時45分をもって、地震の発生場所と規模を以下のとおりとします。

平成20年 5月 8日01時45分 茨城県沖の地震

北緯 36度13.7分 (北緯 36.2度)

東経 141度36.5分 (東経141.6度)

深さ 51km (深さ 50km)

規模 (マグニチュード) 7.0

※括弧内の値は、津波情報等を引き続き発表する場合に使用されます。

=

ゼンコウイヌ1 キヨク

87 03 00 080911103000 C11 080911092631 /// A100000 9999

地震情報（地震の活動状況等に関する情報）

平成20年9月11日10時30分 気象庁発表

2008年9月11日09時21分頃に十勝沖で発生した地震について、  
11日10時20分現在の概要を以下のとおりお知らせします。

\*\*\* 地震の概要 \*\*\*

発生日時：9月11日09時21分頃

マグニチュード：7.1

場所および深さ：十勝沖（えりも岬の東南東、約110km付近）、深さ31km

\*\*\* 震度の観測状況 \*\*\*

【最大震度5弱】北海道新冠町（ニイカップチョウ）、新ひだか町（シンヒダカチョウ）、浦幌町（ウラホロチョウ）、大樹町（タイキチョウ）で震度5弱を観測したほか、北海道から関東地方にかけて震度4～1を観測しました。

\*\*\* 津波警報等の発表状況 \*\*\*

津波注意報：北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、岩手県（11日09時24分現在）

\*\*\* 津波の観測状況 \*\*\*

11日10時20分現在、北海道太平洋沿岸中部で津波を観測しています。

十勝港（第1波：09時56分に押し波0.1m、最大波：10時02分に0.1m）

\*\*\* 余震活動の状況 \*\*\*

11日09時33分に、M5.3（速報値）の最大余震（震度2）が発生するなど、11日10時20分現在、震度1以上の余震は2回観測されています。（震度2：2回）

\*\*\* 防災上の留意事項 \*\*\*

津波注意報を発表している沿岸では、十分注意してください。揺れの強かった地域では、降雨や余震活動により、土砂崩れや家屋の倒壊などの危険性が高まっているおそれがありますので、十分注意してください。

\*\*\* 緊急地震速報の発表 \*\*\*

この地震に対し、地震検知から9.7秒後の09時21分13.5秒に緊急地震速報（警報）を発表しました。

地震情報、津波情報等は最新の情報をご覧ください。

なお、現在発表している情報は気象庁ホームページで公表しております。

=

## 電文例

ゼンコサイズ1 ｷﾝｺ

87 03 00 111021131430 C11 //////////////// /// A100000 9999

地震情報（地震の活動状況等に関する情報）

平成23年10月21日 13時14分 気象庁発表

### 東海地震に関連する調査情報

＊ ＊ 見出し ＊ ＊

これは、東海地震に関連する調査情報（定例）です。

平成23年3月24日から従来の東海地震観測情報を「東海地震に関連する調査情報」に変更しています。現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

#### 【概況】

最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動には、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

カラーレベルは青です。

＊ ＊ 本文 ＊ ＊

本日（21日）開催した地震防災対策強化地域判定会（定例）で前回以降、現在までの、東海地域とその周辺の地震・地殻活動の状況を評価しました。

#### 1. 概況

東海地域とその周辺では、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

#### 2. 地震活動の状況

静岡県中西部の地殻内では、全体的にみて、2005年中頃からやや活発な状態が続いています。

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度のやや少ない状態が続いています。

その他の領域では概ね平常レベルです。

#### 3. 地殻変動の状況

一般的に注目すべき特別な変化は観測されていません。

GPS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向はこれまでと同様に継続しています。

(補足：平成23年3月24日から従来の東海地震観測情報を東海地震に関連する調査情報に変更しています。東海地域の観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を、東海地震に関連する調査情報（臨時）で発表します。また、毎月開催する定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した調査結果を、東海地震に関連する調査情報（定例）で発表します)

(東海地震に関連する調査情報 第1号)

＊ ＊ (参考) 東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等 ＊ ＊

【東海地震予知情報】

東海地震が発生するおそれがあると判断した場合に、「警戒宣言」に伴って発表

(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」及び自治体等の防災計画に従って行動。

【東海地震注意情報】

東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表

(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼び掛けや、自治体等の防災計画に従って行動。

【東海地震に関連する調査情報（臨時）】

東海地域の観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表

(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。

【東海地震に関連する調査情報（定例）】

毎月の定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した調査結果を発表

(防災対応)

特になし。

(東海地震に関連する情報 第1号)

=

電文例

ゼンコクサイズ1 キヨウ

87 03 00 110417170030 C11 ////////////// // A100000 9999

地震情報（地震の活動状況等に関する情報）

平成23年04月17日17時00分 気象庁発表

## 伊豆東部の地震活動に関する情報（第1号）

### 1. 概況

16日夜から東伊豆奈良本のひずみ観測点で縮みのひずみ変化が観測されはじめ、本日、昼過ぎからは、体に感じない小さな地震が発生しはじめています。

### 2. 地殻変動の状況

17日16時現在、東伊豆奈良本のひずみ計の縮み変化は継続しています。また、防災科学技術研究所が整備している周辺の傾斜計にも同期した変化がみられています。

### 3. 地震活動の状況

17日昼過ぎから、体に感じない小さな規模の地震が発生しはじめました。伊東市大原で震度1以上を観測するような地震は発生していません。ただし、震源に近い場所では揺れを感じる場合があります。

### 4. 地震活動の予測

17日16時現在の観測データから予測される地震活動の規模等は、以下の通りです。

地震の規模と震度：

M5程度

（場合によってはM6程度になる可能性があります）

震度4～5弱程度 \*

（場合によってはさらに強い揺れになる場合があります）

震度1以上の地震回数：200～400回程度

活動期間：数日程度（長い場合は1週間程度）

火山活動：噴火に直ちに結びつくような現象は観測されていません。

### 5. 防災上の留意事項

活動期間の予測は一回のマグマ上昇に基づくため、複数回の上昇が起きた場合はさらに長引くことがあります。マグマがさらに浅部へ上昇した場合、地震活動がさらに活発になることがあります。

\* 地盤の状況等により、さらに揺れが大きくなる場合があります。

=

## 5. 各地の震度に関する情報（チキチンソト<sup>13</sup>）

震度1以上の地震が発生した時、その揺れの強さ（震度）を地域、市町村内の最大震度と、震度観測点ごとの震度を報じる。また、震度分布の状況から震度5弱以上と考えられる地域で、震度データを入手していない震度観測点がある場合には、その地点名を発表する。

「aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm EI dd BI See fff …… See fff …… CI See fffff …… See fffff …… II See ffffffff …… See ffffffff …… LCI See fffff LII See ffffffff …… Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」

aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf : コードの共通項目参照。

yymmddhhmm : 発現時（年月日時分）。

kkk : 震央地名コード番号。（別表1のコード表を参照）

xxx yy zzz : 「○○の△△◎◎◎km 付近」の表現 xxx は地点のコード番号（2-1 津波関連電文参照）、yy は16方位、zzz は距離（単位10km、一の位は四捨五入）、発表しない時は「/// // ///」。

yy の16方位は次のとおり。

01:北北東	02:北東	03:東北東	04:東	05:東南東	06:南東
07:南南東	08:南	09:南南西	10:南西	11:西南西	12:西
13:西北西	14:北西	15:北北西	16:北		

ndddd ndddd : 震源の緯度、経度（単位 度 1/10まで表示）、北緯、東経の場合はn=0 西経、南緯の場合はn=1。

hhh : 震源の深さ（単位 km）。不明の場合///、600km以上の場合999

hhh が000の場合には、「震源の深さは約0km」とは表記せず、「震源の深さは、ごく浅い」と表記する。

mm : マグニチュード。不明の場合//、マグニチュードが8を超える巨大地震と推定される場合は8/。

\*\*\*\* 不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法（全ての情報同一） \*\*\*\*

- 震源が詳細不明の場合は「ndddd ndddd hhh mm」は「///// ///// /// //」とし、「震源地は、○○○（詳細不明）。」と表記する。（注）
- 深さだけが不明の場合は「0434 01477 /// 78」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、地震の規模（マグニチュード）は7.8と推定されます。」と表記する。
- マグニチュードだけが不明の場合は「0434 01477 010 //」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、震源の深さは約10kmと推定されます。」と表記する。
- 深さ及びマグニチュードが不明の場合は、「0434 01477 /// ///」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）と推定されます。」と表記する。
- マグニチュードが8を超える巨大地震と推定される場合は「0434 01477 010 8/」とし、

「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は8を超える巨大地震と推定されます。」と表記する。

(注) ○○○にはコードのkkkに対応する震央地名が入る。

ただし、震源の詳細不明は観測網整備に伴い、現在では運用上原則として発表しないことにしている。

EI：予備データの識別符号

dd：予備データ（//或いは数字；使用しないで下さい）

BI：地域震度を報ずることを示す識別符号。

See (Se)：震度を示す。階級の大きな順番で示す。Sは震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強(5-、5+、6-、6+)は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

fff：地域番号（別表2のコード表を参照）

CI：市町村震度を報ずることを示す識別符号。

See (Se)：震度を示す。階級の大きな順番で示す。Sは震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強(5-、5+、6-、6+)は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

fffff：市町村番号（5桁）、上3桁が地域を表す。

II：地点震度を示す識別符号

See (Se)：震度を示す。階級の大きな順番で示す。Sは震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強(5-、5+、6-、6+)は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

fffffff：地点番号（7桁）。上3桁が地域、上5桁が市町村地域、下2桁が観測点を示す。（気象庁より配布する震度観測点パラメータ一覧参照）

LCI：LCIは未入電の市町村震度を報ずることを示す識別符号。

震度○○以上と考えられるが現在震度を入手していない市町村を報ずる。

該当する未入電の市町村震度がない場合は、識別符号LCIを含め「LCI See ffffff……」は省略する。

See (Se)：Sは震度階級を報ずることを示す識別符号、その後に○○の震度階級を報ずる。5弱、5強、6弱、6強(5-、5+、6-、6+)は2桁、それ以外の震度階級は1桁とする。当面は下限の震度階級○○は5弱とするので、S5-となる。

fffff：市町村番号（5桁）、上3桁が地域を表す。

LII：LIIは未入電の地点震度を報ずることを示す識別符号。

震度○○以上と考えられるが現在震度を入手していない観測点を報ずる。該

当する未入電の地点震度が無い場合は、この識別符号で報ずる「LII See ffffffff.....」は省略する。

See (Se) : S は震度階級を報ずることを示す識別符号、その後に〇〇の震度階級を報ずる。5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁とする。当面は下限の震度階級〇〇は5弱とするので、S5-となる。

fffffff : 地点番号 (7桁)。

Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> : 付加文の有無を表すコード。

9999 : コード行の終わりを示す。

### 電文例

千代田県 13 キョウ

91-95 03 00 090904193428 C11 0909041930 350 /// // /// 0357 01398 040  
30 EI // BI S2 350 CI S2 35006 S1 35007 II S2 3500630 S1 3500752  
A170000 9999

この地震について、緊急地震速報を発表しています。この地震の最大震度は2でした」=

※

※ は付加文対応していないコード部の終わりに入る付加文

### 翻訳例

各地の震度に関する情報

平成21年9月4日19時34分 気象庁発表

きょう04日19時30分ころ地震がありました。

震源地は、東京都23区(北緯35.7度、東経139.8度)で、震源の深さは約40km、地震の規模(マグニチュード)は3.0と推定されます。

。

地域、市町村の震度は次のとおりです。

震度2 東京都23区

震度2 東京都墨田区

震度1 東京都江東区

各地の震度は次のとおりです。

なお、\*印は気象庁以外の震度観測点についての情報です。

東京都 震度2 東京墨田区吾妻橋\*

震度1 東京江東区亀戸\*

この地震による津波の心配はありません。

この地震について、緊急地震速報を発表しています。この地震の最大震度は2でした。

【別冊】  
地震・津波関連移行措置用  
コード電文解説資料

平成24年6月  
気象庁地震火山部

## はじめに

この「地震・津波関連移行措置用コード電文解説資料」（以下「本解説資料」という。）は、平成25年3月運用開始予定の津波に関連する情報等の変更に伴う移行措置用電文について、新形式電文との違いを説明したものである。

本解説資料は、「地震・津波・火山に関する情報のコード電文解説資料（津波・噴火警報変更箇所抜粋）」との重複記載は極力せず、新形式電文との相違点や、使用にあたっての留意事項に特化した事項について記載しており、上記資料と合わせて本解説資料を読むことで全体像を把握していただくという利用を想定している。

## 1 データ種類コード

新形式電文においては、電文ヘッダー部のデータ種類コードを、以下の通り変更する。

移行措置用電文においては、現行のデータ種類コードをそのまま使用し、沖合の津波観測に関する情報については、ツミシヨウホウ1、ツミシヨウホウ3により発表する。なお、現行のツミシヨウホウ1、ツミシヨウホウ3では沿岸と沖合の津波観測に関する情報をまとめて発表しているが、移行措置用電文においては、同じツミシヨウホウ1、ツミシヨウホウ3でも沿岸と沖合の津波観測に関する情報に分けて発表するので留意が必要である。

電文名	現行	移行措置用	変更後
津波警報・注意報	ツミヨホウ1	ツミヨホウ1	ツミヨホウ11
	ツミヨホウ3	ツミヨホウ3	ツミヨホウ13
	ツミヨホウ6	ツミヨホウ6	ツミヨホウ16
津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）	ツミヨホウ1	ツミヨホウ1	ツミヨホウ11
	ツミヨホウ3	ツミヨホウ3	ツミヨホウ13
津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	ツミシヨウホウ1	ツミシヨウホウ1	ツミシヨウホウ11
	ツミシヨウホウ3	ツミシヨウホウ3	ツミシヨウホウ13
津波情報（津波観測に関する情報）	ツミシヨウホウ1	ツミシヨウホウ1	ツミシヨウホウ11
	ツミシヨウホウ3	ツミシヨウホウ3	ツミシヨウホウ13
津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	-	ツミシヨウホウ1	ホクイツナミ11
	-	ツミシヨウホウ3	ホクイツナミ13
津波予報（若干の海面変動）	ツミシヨウホウ1	ツミシヨウホウ1	ツミシヨウホウ11
津波観測に関する一覧データ	ツミカンソクイラン3	ツミカンソクイラン3	ツミイラン13
地震情報（震源に関する情報）	シゲンソクホウ1	シゲンソクホウ1	シゲンソクホウ11
地震情報（震源・震度に関する情報）	ゼンコクサイモ1	ゼンコクサイモ1	ゼンコクサイモ11※

各地の震度に関する情報	チイキテンシト <sup>3</sup>	チイキテンシト <sup>3</sup>	チイキテンシト <sup>13</sup>
-------------	----------------------	----------------------	-----------------------

※地震情報（その他の情報）の「ゼンコクサイモ1（電文種別コード87）」は存続

## 2 電文種別コード

新形式電文においては、コード部の電文種別種類コード（aa）を、以下の通り変更する。

移行措置用電文においては、現行の電文種別種類コードを使用し、沖合の津波観測に関する情報については、現行の津波情報（津波観測に関する情報）により発表する。

電文名	現行	移行措置用	変更後
津波警報・注意報	01（近地） 02（遠地） 03（両方）	01（近地） 02（遠地） 03（両方）	30 （近地・遠地の 区別なし）
津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）	04（近地） 05（遠地） 06（両方）	04（近地） 05（遠地） 06（両方）	31 （近地・遠地の 区別なし）
津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	10	10	32
津波情報（津波観測に関する情報）	11	11	33
津波情報（沖合の津波観測に関する情報）	-	11	34
津波予報（若干の海面変動）	12	12	13
津波観測に関する一覧データ	16	16	14
地震情報（震源に関する情報）	89	89	92
地震情報（震源・震度に関する情報）	84	84	93※
各地の震度に関する情報	91	91	95

※地震情報（その他の情報）の「ゼンコクサイモ1（電文種別コード87）」は存続

## 3 見出し情報に対する付加文

新形式電文の「津波警報・注意報」においては、過去の災害の引用や、沖合の津波観測値による情報変更であることを伝えるため、T OP の n3 のコード番号を追加する。

移行措置用電文においては、漢字かな部には新電文の内容を記載し、コード部では追加された番号（4～9）は使用せず、0（付加文なし）とする。

## 【現行】

- 0:付加文なし
- 1:「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難してください。(改行)  
なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります。」
- 2:「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難してください。」
- 3:「なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります。」

## 【追加】

- 4:「ただちに避難してください。」
- 5:「東日本大震災クラスの津波が来襲します。(改行)  
ただちに避難してください。」
- 6:「沖合で高い津波を観測したため大津波警報・津波警報に切り替えました。(改行)  
ただちに避難してください。」
- 7:「沖合で高い津波を観測したため大津波警報に切り替えました。(改行)  
ただちに避難してください。」
- 8:「沖合で高い津波を観測したため津波警報に切り替えました。(改行)  
ただちに避難してください。」
- 9:「沖合で高い津波を観測したため予想される津波の高さを切り替えました。」  
(注) 新電文では1～3は使用しない。

## 4 予想される津波の高さ

新形式電文の「津波警報・注意報」、「津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）」、「津波観測に関する一覧データ」（コード部のみ）においては、マグニチュードが8を超える巨大地震と推定されるなど、地震規模の推定の不確実性が大きいとき、予想される津波の高さを津波警報等の種類に応じて定性的に表現する。

移行措置用電文においては、漢字かな部には新電文の内容を記載し、コード部には定性的表現の場合は////を記載する。

種類	漢字かな部 (移行措置用・新形式)	コード部 (移行措置用)	コード部 (新形式)
大津波警報	巨大	////	LLL/
津波警報	高い	////	LL//
津波注意報	なし（記載しない）	////	L///

## 5 津波に関係する（発表状況に関する部分を除く）付加文

新形式電文の「津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）」、「津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）」、「津波情報（津波観測に関する情報）」、「津波情報（沖合の津波観測に関する情報）」においては、津波に関係する（発表状況に関する部分を除く）付加文コード{Afn1n2n3n4n5n6n7n8n9}のn4n5n6n7のコード番号を追加する。

移行措置用電文においては、漢字かな部には新電文の内容を記載し、コード部では追加された番号（6～8）は使用しない。

### 【現行】※一部翻訳文の変更あり

0:付加文なし

- 1:「場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる可能性があります（改行）があります。」
- 2:「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要です。」
- 3:「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますのでより十分な注意が必要です。」
- 4:「場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達し（改行）ているおそれがあります。」
- 5:「今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます。」

### 【追加】

- 6:「警報が発表された沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。（改行）  
到達予想時刻は、予報区のなかで最も早く津波が到達する時刻です。場所に（改行）よっては、この時刻よりもかなり遅れて津波が襲ってくる可能性があります。（改行）  
到達予想時刻から津波が最も高くなるまでに数時間以上かかることがあります（改行）  
すので、観測された津波の高さにかかわらず、警報が解除されるまで安全な（改行）  
場所から離れないでください。」
- 7:「津波による潮位変化が観測されてから最大波が観測されるまでに数時間以上（改行）  
かかることがあります。」
- 8:「上記は沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります。」

## 6 マグニチュード

新形式電文においては、マグニチュードが8を超える巨大地震と推定される場合、漢字かな部には「地震の規模（マグニチュード）は8を超える巨大地震と推定されます。」と記

載し、コード部のマグニチュードを表すコード mm を“8/”とする。

移行措置用電文においては、漢字かな部には新電文の内容を記載し、コード部では//（不明）とする。

## 7 その他

新形式電文の津波情報においては、漢字かな部末尾の「津波情報○号」を削除する。

移行措置用電文においては、「津波情報○号」をつける。